

整理番号		(会計)01一般会計(款)04衛生費(項)01保健衛生費(目)04斎苑運営費(大事業)01斎苑管理運営経費							決算書頁																						
265 -									233																						
基本情報	コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業																								
	施策	7-2	財政運営			H16 年度～ R6 年度	01-04-01-04-01-01																								
	基本事業	②	公有財産の有効活用			担当部署	部・課名等		評価責任者・連絡先																						
	事務事業名	斎苑管理運営経費			人権生活環境部生活環境課		課長 福森 公美 0595-22-9624																								
事務事業の概要	対 象	市民																													
	目 的	故人を偲ぶ終焉の場にふさわしい尊厳と品位の保持を図るため、計画的に点検・改修し、施設を維持する。																													
	根拠法令等	墓地、埋葬等に関する法律																													
	内 容	○施設設備保守点検業務 ・空調設備保守点検 726,000円 ・浄化槽清掃保守点検 426,800円 ・火葬炉保守点検 1,116,500円 計 2,269,300円 ○施設維持管理業務等 ・施設警備業務 132,000円 ・火葬業務 12,281,856円 計 12,413,856円																													
	事業に要した主な経費など	<table><tr><th>経費</th><th>金額</th><th>摘要</th></tr><tr><td>燃料費</td><td>12,425,160円</td><td>火葬炉燃料</td></tr><tr><td>光熱水費</td><td>5,083,360円</td><td>電気・ガス・上下水道</td></tr><tr><td>委託料</td><td>2,269,300円</td><td>施設設備保守点検業務委託料</td></tr><tr><td></td><td>12,413,856円</td><td>施設維持管理業務等委託料</td></tr><tr><td>修繕料</td><td>89,100円</td><td>空調設備冷媒薬品投入、火葬用台車バッテリー取替</td></tr><tr><td>その他</td><td>1,853,782円</td><td>消耗品・機械器具借上料・手数料・テレビ受信料等</td></tr><tr><td>計</td><td>34,134,558円</td><td></td></tr></table>							経費	金額	摘要	燃料費	12,425,160円	火葬炉燃料	光熱水費	5,083,360円	電気・ガス・上下水道	委託料	2,269,300円	施設設備保守点検業務委託料		12,413,856円	施設維持管理業務等委託料	修繕料	89,100円	空調設備冷媒薬品投入、火葬用台車バッテリー取替	その他	1,853,782円	消耗品・機械器具借上料・手数料・テレビ受信料等	計	34,134,558円
経費	金額	摘要																													
燃料費	12,425,160円	火葬炉燃料																													
光熱水費	5,083,360円	電気・ガス・上下水道																													
委託料	2,269,300円	施設設備保守点検業務委託料																													
	12,413,856円	施設維持管理業務等委託料																													
修繕料	89,100円	空調設備冷媒薬品投入、火葬用台車バッテリー取替																													
その他	1,853,782円	消耗品・機械器具借上料・手数料・テレビ受信料等																													
計	34,134,558円																														
全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)																							
			国県支出金	0	0	0	0																								
			地方債	0	0	0	0																								
			その他	28,146	27,553	28,203	9,328																								
			一般財源	6,292	7,073	5,932	0																								
		合計(A)		34,438	34,626	34,135	9,328																								
		人件費	正規職員	業務量	0.60 人	0.60 人	0.35 人		0.35 人																						
				人件費	4,643	4,623	2,697		2,756																						
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人																						
				人件費	0	0	0		0																						
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人																						
				人件費	0	0	0		0																						
		小計(B)		4,643	4,623	2,697	2,756																								
		合計(A+B)		39,081	39,249	36,832	12,084																								
		市民1人当たりのコスト(円)		446	455	427	142																								
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																					
	年間営業日数		年間休業日(毎月1日)の12日間以外に休業しないよう恒常的に管理運営に努める。		日	目標	353	353	354	353																					
						実績	353	353	354																						
	指標化できない成果		—			達成	100%	100%	100%																						
方向	改善	課題 斎苑については、平成2年に竣工し30年以上の年月が経過しており、近年における施設利用の増加と施設等の経年劣化・老朽化により不具合が度々発生している。本施設については稼働を停止することができない施設であるため、計画的に維持管理を行い、施設及び設備の延命化を図っている。																													
	改善案	市町村合併後の斎苑利用の増加と近年の高齢化社会の進行、団塊の世代が高齢期を迎えるにあたって、これからの利用増加が見込まれる火葬需要に対応していくため、令和2年度より新斎苑整備運営事業に着手し、本年度は実施設計に基づき、主に火葬棟、待合棟の施設整備事業を完成させた。																													

整理番号		(会計)01一般会計(款)04衛生費(項)01保健衛生費(目)04斎苑運営費(大事業)01斎苑管理運営経費						決算書頁	
266 -								233	

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	999 施策なし	H16 年度～	R6 年度	01-04-01-04-01-02	
	基本事業	基本事業なし	部・課名等		評価責任者・連絡先	
	事務事業名	斎苑施設改修事業	担当部署	人権生活環境部生活環境課	課長 福森 公美 0595-22-9624	

事務事業の概要	対 象	市民	
	目 的	故人を偲ぶ終焉の場にふさわしい尊厳と品位の保持を図るため、計画的に改修等を行い延命化を図る。	
	根拠法令等	墓地埋葬に関する法律	
	内 容	○施設改修工事 ・火葬炉設備(1号炉)主・再燃焼室耐火物修繕 4,730,000円 ・火葬炉設備 動物炉主燃焼室耐火物一部修繕 1,050,000円 ・動物炉耐火台車上部取替修繕 1,299,980円 ・火葬炉設備 2系列煙道耐火物修繕 2,214,630円	

事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要
	工事請負費	9,294,610円	施設改修工事
	計	9,294,610円	

全体コスト(千円)	直接 事業費	項目	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		国県支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	8,657	7,799	9,295	0		
	合計(A)	8,657	7,799	9,295	0			
	事業費	正規職員	業務量	0.40 人	0.40 人	0.33 人		0.33 人
			人件費	3,095	3,082	2,543		2,599
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
小計(B)		3,095	3,082	2,543	2,599			
合計(A+B)	11,752	10,881	11,838	2,599				
市民1人当たりのコスト(円)		134	126	137	31			

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	
	指標化できない成果	施設の改修費と維持管理経費との費用対効果	達成	—	—	—		

方向	改善	課題	斎苑については、平成2年に竣工し30年以上の年月が経過しており、近年における施設利用の増加と施設等の経年劣化・老朽化により不具合が度々発生している。本施設については稼働を停止することができない施設であるため、計画的に維持管理を行い、施設及び設備の延命化を図っているが、多額の費用がかかっている。
		改善案	市町村合併後の斎苑利用の増加と近年の高齢化社会の進行、団塊の世代が高齢期を迎えるにあたって、これからの利用増加が見込まれる火葬需要に対応していくため、令和2年度より新斎苑整備運営事業に着手し、令和6年7月供用開始予定である。

整理番号		(会計)01一般会計(款)04衛生費(項)01保健衛生費(目)04斎苑運営費(大事業)01斎苑管理運営経費						決算書頁	
267 -								233	

基本情報	コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業		
	施策	999	施策なし	H16	年度～	R6	年度	01-04-01-04-01-03
	基本事業		基本事業なし	担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先	
	事務事業名	新斎苑整備運営事業			人権生活環境部生活環境課		課長 福森 公美 0595-22-9624	

事務事業の概要	対 象	市民	
	目 的	新斎苑の整備・運営に向けた取組を図る。	
	根拠法令等	民間資金等の活用による公共施設等の整備に関する法律(PFI法)	
	内 容	○新斎苑整備運営事業 ・PFIモニタリング支援業務 7,106,000円 ・新斎苑直接購入費 1,182,346,755円	

事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要
	委託料	7,106,000円	PFIモニタリング支援業務
	公有財産購入費	1,182,346,755円	新斎苑直接購入費
	計	1,189,452,755円	

全体コスト(千円)	直接 事業費	項目		R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		国県支出金		0	0	0	0	
		地方債		0	857,700	886,700	180,600	
		その他		0	0	0	0	
		一般財源		22,102	293,077	302,753	148,026	
	合計(A)		22,102	1,150,777	1,189,453	328,626		
	事業費	正規職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.40 人	0.40 人	
			人件費	0	0	3,082	3,150	
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	
	小計(B)		0	0	3,082	3,150		
	合計(A+B)		22,102	1,150,777	1,192,535	331,776		
市民1人当たりのコスト(円)		252	13,317	13,800	3,888			

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	—	—	—	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	
指標化できない成果	事業初年度におけるPFI手法の効果		達成	—	—	—		

方向	改善	課題	令和2年の計画等策定により、PFI法に基づき民間活力を導入した事業に取り組んでいるが、現施設の稼働(維持管理)や他の業務と並行して事業を遂行しなければならないうえ、事業遂行にあたっては専門的な知識等を要する事が多い。
		改善案	PFI法に基づく事業実施に当たっては、専門知識を有す外部組織(コンサル等)に支援業務を委託し、事業推進に取り組んでいる。

整理番号 268 - (会計)01一般会計(款)04衛生費(項)01保健衛生費(目)05新型感染症対策費(大事業)01新型感染症対策事業 決算書頁 235																																										
基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業																																					
	施策	1-3 健康づくり	R2	年度～	R5 年度	01-04-01-05-01-10																																				
	基本事業	① 健康増進	担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先																																				
	事務事業名	新型コロナウイルスワクチン接種事業		健康福祉部健康推進課		課長 太田 友美 0595-22-9653																																				
事務事業の概要	対 象	新型コロナウイルスワクチン接種の対象となる市民																																								
	目 的	新型コロナウイルスワクチン接種を行うことで、新型コロナウイルス感染症の発症・重症化・まん延を予防する																																								
	根拠法令等	予防接種法、予防接種法施行令、予防接種法施行規則、新型コロナウイルス感染症に係る臨時の予防接種実施要領																																								
	内 容	新型コロナウイルス感染症の拡大防止及び重症化予防のため、市民に対し新型コロナウイルスワクチンの接種を実施した。 また、海外渡航の際に新型コロナワクチンを接種済みであることを証明する接種証明書(ワクチンパスポート)を発行した。 【対象者】令和4年度末時点 (初回接種)接種を受ける当日に住民登録のある6ヶ月以上の人、(追加接種)接種を受ける当日に住民登録のある5歳以上の人 【接種体制】令和4年度中 個別接種(1～5回目):市内41医療機関で実施、集団接種(3回目):伊賀市役所実施(①1回目5月15日(229人)、2回目5月21日(231人) 職域接種(3、4回目):市内企業(3回目は5企業、4回目は2企業)と上野商工会議所・伊賀市商工会(3回目的のみ)で実施 【接種率】令和5年3月27日接種終了時点 1回目(従来株):65歳以上96.5%(28,603人)64歳以下77.0%(45,210人)全体83.6%(73,813人) 3回目(従来株):65歳以上90.9%(26,935人)64歳以下58.6%(34,480人)全体69.5%(61,415人) 追加接種(オミクロン株):接種者数(40,807人)接種率(46.2%) 【接種率】令和6年3月末接種終了時点 令和5年春開始接種:65歳以上54.2%(16,057人)64歳以下3.1%(1,719人)全体20.1%(17,776人) 令和5年秋開始接種:65歳以上51.8%(15,345人)64歳以下12.3%(6,908人)全体25.2%(22,253人)																																								
	事業に要した 主な経費 など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報償費</td> <td>14,554,000円</td> <td>接種体制確保事業における診療所への個別接種促進のための支援金</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>109,160,028円</td> <td>新型コロナワクチン接種費委託料、医薬材料費等購入業務委託料</td> </tr> <tr> <td></td> <td>18,618,600円</td> <td>コールセンター構築及び運営業務委託</td> </tr> <tr> <td></td> <td>7,199,500円</td> <td>ワクチン接種券等印刷封入封緘業務委託(委託先:レスター工業㈱)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5,392,200円</td> <td>ワクチン配送業務委託料(委託先:佐川急便㈱)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2,422,750円</td> <td>システム改修業務委託</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>5,520,111円</td> <td>通信運搬費5,207,911円、手数料312,200円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>269,038円</td> <td>電算機器購入費99,550円 管理用備品購入費169,488円</td> </tr> <tr> <td>償還金</td> <td>25,257,318円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>4,212,302円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>192,605,847円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						経費	金額	摘要	報償費	14,554,000円	接種体制確保事業における診療所への個別接種促進のための支援金	委託料	109,160,028円	新型コロナワクチン接種費委託料、医薬材料費等購入業務委託料		18,618,600円	コールセンター構築及び運営業務委託		7,199,500円	ワクチン接種券等印刷封入封緘業務委託(委託先:レスター工業㈱)		5,392,200円	ワクチン配送業務委託料(委託先:佐川急便㈱)		2,422,750円	システム改修業務委託	役務費	5,520,111円	通信運搬費5,207,911円、手数料312,200円	備品購入費	269,038円	電算機器購入費99,550円 管理用備品購入費169,488円	償還金	25,257,318円		その他	4,212,302円		計	192,605,847円
経費	金額	摘要																																								
報償費	14,554,000円	接種体制確保事業における診療所への個別接種促進のための支援金																																								
委託料	109,160,028円	新型コロナワクチン接種費委託料、医薬材料費等購入業務委託料																																								
	18,618,600円	コールセンター構築及び運営業務委託																																								
	7,199,500円	ワクチン接種券等印刷封入封緘業務委託(委託先:レスター工業㈱)																																								
	5,392,200円	ワクチン配送業務委託料(委託先:佐川急便㈱)																																								
	2,422,750円	システム改修業務委託																																								
役務費	5,520,111円	通信運搬費5,207,911円、手数料312,200円																																								
備品購入費	269,038円	電算機器購入費99,550円 管理用備品購入費169,488円																																								
償還金	25,257,318円																																									
その他	4,212,302円																																									
計	192,605,847円																																									
全体コスト(千円)	直接 事業費	項目	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)																																			
		国県支出金	374,831	439,472	192,606	0																																				
		地方債	0	0	0	0																																				
		その他	0	0	0	0																																				
		一般財源	85,485	0	0	0																																				
	事業費	合計(A)	460,316	439,472	192,606	0																																				
		正規職員	業務量	4.50 人	3.00 人	3.00 人	0.00 人																																			
			人件費	34,817	23,115	23,115	0																																			
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人																																		
				人件費	0	0	0	0																																		
会計年度任用職員	業務量	6.83 人	5.65 人	3.20 人	0.00 人																																					
	人件費	11,045	9,487	5,373	0																																					
小計(B)	45,862	32,602	28,488	0																																						
合計(A+B)	506,178	472,074	221,094	0																																						
市民1人当たりのコスト(円)	5,769	5,463	2,559	0																																						
指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																		
	新型コロナワクチン接種率(R3年度は2回目の接種率、R4年度は3回目の接種率を指標とする。)	新型コロナワクチンの接種率を向上させることで新型コロナウィルス感染症の重症化予防、まん延防止につながる。	%	目標	80	65	—	—																																		
				実績	80	69	—																																			
	指標化できない成果	R5年春から接種基準変更となったため評価できません		達成	100%	100%	—																																			
方向	完了	課題																																								
		改善案																																								

整理番号	(会計)01一般会計(款)04衛生費(項)01保健衛生費(目)06エネルギー価格・物価高騰対策費(大事業)01 エネルギー価格高騰対策事業	決算書頁
269 -		235

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	7-2 財政運営	R5	年度～	R5 年度	01-04-01-06-01-01
	基本事業	① 持続可能な財政運営	担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	上水道事業		財務部財政課		課長 竹森 昭治 0595-22-9608

事務事業の概要	対 象	水道事業				
	目 的	安全安心な水道水の供給				
	根拠法令等					
	内 容	原油価格や物価高騰に直面する市民及び事業者への経済的影響を軽減するため、水道基本料金を4ヶ月間減額する経費を補助しました。				
事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要	
	負担金、補助及び交付金		145,443,100円		水道事業補助	
	計		145,443,100円			

		項目	R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 【国】 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金		
全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	国県支出金		0		0		145,444			0	
			地方債		0		0		0			0	
			その他		0		0		0			0	
			一般財源		0		0		0			0	
			合計(A)		0		0		145,444			0	
	人件費	正規職員	業務量	0.00	人	0.00	人	0.00	人	0.00		人	
			人件費	0		0		0		0			
		再任用職員	業務量	0.00	人	0.00	人	0.00	人	0.00		人	
			人件費	0		0		0		0			
		会計年度任用職員	業務量	0.00	人	0.00	人	0.00	人	0.00		人	
			人件費	0		0		0		0			
		小計(B)		0		0		0		0			
		合計(A+B)		0		0		145,444		0			
	市民1人当たりのコスト(円)			0		0		1,684		0			

指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	—		—		—	目標	—	—	—	—
						実績	—	—	—	
	指標化できない成果		成果を求める事業ではない。			達成	—	—	—	

方向	完了	課題	
		改善案	

整理番号		(会計)01一般会計(款)04衛生費(項)02清掃費(目)01清掃総務費(大事業)02清掃管理経費						決算書頁	
270 -								237	
基本情報	コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業		
	施策	2-5	一般廃棄物			H16 年度～ R6 年度	01-04-02-01-02-01		
	基本事業	②	ごみの資源化			担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	清掃管理経費			人権生活環境部廃棄物対策課		課長 田中 稔美 0595-20-1050		
事務事業の概要	対 象	一般廃棄物処理基本計画							
	目 的	一般廃棄物処理基本計画に基づく、ごみ処理に関する課題対応							
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律							
	内 容	・廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、市が実施する清掃事業の実施計画を立案して業務を行いました。 ・伊賀市一般廃棄物の収集、運搬、処分及び浄化槽清掃業の委託、許可、更新等に関する審査委員会条例に基づき、事業の適正化と円滑な推進を図ることを目的として、2回の審査委員会を開催し、審査を実施しました。(報告87件、審査48件、現地確認1件) ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条3項の規定に基づき、該当市町村からの協議申請に対し聴き取り等を経て回答を行いました。(新規3件、更新50件) ・廃棄物処理施設所在地域及び跡地の水質や土壌等について、物質濃度等の状況を把握し、公害防止対策のための環境調査を実施しました。 ・さくらサイクルセンターの地元操業期限及び施設老朽化に伴う維持管理コスト削減、効率的な一般廃棄物処理を図るため、名張市ともにごみ処理広域化施設整備について検討を行いました。 ・持続可能なごみの適正処理を確保するため、伊賀市、名張市、笠置町及び南山城村ごみ処理広域化検討協議会(任意協議会)を2回開催しました。令和6年4月に「ごみ処理広域化検討協議会」と「ごみ処理広域化基本構想検討委員会」を設置します。							
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要			
	報酬	120,000円		一般廃棄物収集運搬等許可審査委員報酬(12人)					
	旅費	22,237円		委員旅費					
	需用費	393,268円		消耗品費、公用車修繕料等					
	役務費	231,884円		電話料金等					
	委託料	4,945,600円		花垣地区環境調査業務委託			4,290,000円		
				不燃物処理場・しらせCC跡地環境調査業務委託			655,600円		
	負担金	18,000円		三重県安全運転管理協議会負担金			13,000円		
				三重県清掃協議会負担金			5,000円		
	その他	19,720円		有料道路通行料、自動車重量税					
	計	5,750,709円							
全体コスト(千円)	直接 事業費	項目	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)		
		国県支出金	0	0	0	0			
		地方債	0	0	0	0			
		その他	4,298	6,107	5,160	5,833			
		一般財源	537	1,046	591	689			
	合計(A)	4,835	7,153	5,751	6,522				
	事業費 人件費	正規職員	業務量	0.62 人	0.91 人			1.00 人	0.00 人
			人件費	4,797	7,012			7,705	0
		再任用職員	業務量	0.01 人	0.00 人			0.00 人	0.00 人
			人件費	36	0			0	0
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人			0.00 人	0.00 人
			人件費	0	0			0	0
		小計(B)	4,833	7,012	7,705			0	
		合計(A+B)	9,668	14,165	13,456			6,522	
	市民1人当たりのコスト(円)		111	164	156			77	
指標	指標名	指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	事業の進捗状況	計画に基づき一般廃棄物を処理する		%	目標	100	100	100	100
					実績	100	100	100	
	指標化できない成果	—		達成	100%	100%	100%		
方向	改善	課題	さくらサイクルセンター地元地域との操業協定の期限があるなか早期に、ごみ処理広域化基本構想の策定が必要。						
		改善案	基本構想策定に向けて、伊賀市、名張市、笠置町及び南山城村の財政状況・地域状況を加味し、4市町村連携を図る。						

整理番号		(会計)01一般会計(款)04衛生費(項)02清掃費(目)01清掃総務費(大事業)02清掃管理経費						決算書頁		
271 -								237		
基本情報	コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業			
	施策	2-5 一般廃棄物			H16 年度～ R6 年度		01-04-02-01-02-02			
	基本事業	② ごみの資源化			担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先		
	事務事業名	一般廃棄物減量等推進事業				人権生活環境部廃棄物対策課		課長 田中 稔美 0595-20-1050		
事務事業の概要	対 象	一般家庭から排出される可燃ごみ								
	目 的	ごみ分別の徹底による可燃ごみ排出量の減少								
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律								
	内 容	・一般廃棄物の減量化・再資源化及び環境美化への取り組みを図るため、ごみ減量・リサイクル等推進委員会を2回開催しました。 ・指定ごみ袋の発注と販売(ごみ袋発注枚数 3,190,000枚 ごみ袋取扱店舗数 172店舗)を行いました。 ・バイオマスプラスチック配合可燃物ごみ袋の導入に向けたアンケートを実施しました。(調査期間:2023(令和5)年7～9月、調査対象者:市民600人(旧青山支所管内を除く。)) ・環境学習の一環として、再生利用可能な廃棄物(紙・布類)の集団回収を行った登録団体に対し、回収量1kgあたり3円の奨励金(申請:延べ114件 回収量:70,538kg)を交付しました。 ・家庭から排出される生ごみの減量化と堆肥としての資源化を図るため、生ごみ処理容器を設置する者に対し購入費の一部(3分の1)の補助金(申請:54件(電動31件、手動23件))を交付しました。								
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要				
報酬		199,100円		ごみ減量・リサイクル等推進委員報酬(15人)						
報償費		211,612円		資源再利用物回収奨励金						
旅費		30,562円		委員旅費						
需用費		20,947,537円		消耗品、指定ごみ袋作製等						
手数料		5,449,400円		指定ごみ袋・差額シール取扱店手数料						
通信運搬費		285,260円		アンケート郵送料金						
委託料		2,693,408円		指定ごみ袋保管・配送業務委託						
負担金・補助及び交付金		823,300円		生ごみ処理機及びコンポスト設置補助金						
計		30,640,179円								
全体コスト(千円)	直接 事業費	項目		R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)		
		国県支出金		0	0	0	0			
		地方債		0	0	0	0			
		その他		37,036	10,293	30,641	62,572			
		一般財源		0	0	0	3,830			
	合計(A)		37,036	10,293	30,641	66,402				
	事業費 人件費	正規職員	業務量	2.79 人	3.41 人	3.46 人	1.99 人			
			人件費	21,587	26,275	26,660	15,670			
		再任用職員	業務量	0.40 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人			
			人件費	1,436	0	0	0			
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人			
			人件費	0	0	0	0			
		小計(B)		23,023	26,275	26,660	15,670			
		合計(A+B)		60,059	36,568	57,301	82,072			
	市民1人当たりのコスト(円)		685	424	664	962				
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	可燃ごみ排出量の減量		さくらリサイクルセンターでの可燃ごみ処理量		t	目標	20,000	20,000	20,000	20,000
						実績	19,804	19,381	18,699	
	指標化できない成果		—		達成	101.0%	103.2%	106.9%		
方向	改善	課題	2023(R5)年度にさくらリサイクルセンターへ搬入された可燃ごみは18,609トンで前年度から微減にとどまった。							
		改善案	一般廃棄物の減量・再資源化、環境美化などについて、ごみ減量・リサイクル等推進委員会に諮るなど、ごみ減量に向けた取り組みを進める。							

整理番号		(会計)01一般会計(款)04衛生費(項)02清掃費(目)01清掃総務費(大事業)02清掃管理経費						決算書頁	
272 -								237	

基本情報	コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業		
	施策	2-5	一般廃棄物	H16	年度～	R6	年度	01-04-02-01-02-03
	基本事業	①	ごみの処理コスト削減	担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先	
	事務事業名	伊賀南部環境衛生組合負担金			人権生活環境部廃棄物対策課		課長 田中 稔美 0595-20-1050	

事務事業の概要	対 象	青山支所管内の一般廃棄物		
	目 的	青山支所管内で発生するごみを名張市と共同で適切な処理を行うとともにごみ減量化に努める		
	根拠法令等	伊賀市廃棄物の処理及び清掃に関する条例		
	内 容	伊賀南部クリーンセンターの維持管理及びごみの焼却や分別、ごみ収集等に係る経費について、伊賀市分担金を負担しました。 ○クリーンセンター維持管理経費 クリーンセンター運転管理及び展開検査業務委託料、クリーンセンター運営に係る光熱水費、飛灰処理業務委託料、焼却・リサイクル機器類保守点検委託料、ごみ処理施設の更新工事、ごみ処理施設定期修繕経費等各種修繕料 ○ごみ収集等経費 ごみ収集運搬業務委託料、指定ごみ袋製造管理業務委託料		
事業に要した 主な経費 など	経費		金額	摘要
	負担金		133,223,000円	伊賀南部環境衛生組合伊賀市分担金
		計	133,223,000円	

全体コスト(千円)	直接 事業費	項目		R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)		
		国県支出金		0	0	0	0			
		地方債		10,700	21,600	4,000	10,000			
		その他		0	0	0	0			
		一般財源		115,945	139,925	129,223	162,842			
	合計(A)		126,645	161,525	133,223	172,842	R6当初予算中R5年度からの繰越明許費 地方債 10,000千円 一般財源3,429千円			
	事業費 人件費	正規職員	業務量	0.17	人	0.18		人	0.18	人
		再任用職員	業務量	0.01	人	0.00		人	0.00	人
			人件費	36	0	0		0	0	
		会計年度任用職員	業務量	0.00	人	0.00		人	0.00	人
			人件費	0	0	0		0	0	
	小計(B)		1,352	1,387	1,387	1,418				
合計(A+B)		127,997	162,912	134,610	174,260					
市民1人当たりのコスト(円)		1,459	1,886	1,558	2,042					

指 標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	ごみの収集量	ごみの減量化	t	目標	2,033	2,033	2,033	2,033
				実績	2,192	2,166	2,052	
	指標化できない成果	—	達成	92.7%	93.9%	99%		

方 向	改善	課題	長寿化計画を踏まえ、伊賀南部クリーンセンターの延命かの検討を行う必要がある。
	改善案		名張市、南部環境衛生組合と3者で検討を実施する。

整理番号		(会計)01一般会計(款)04衛生費(項)02清掃費(目)02塵芥処理費(大事業)01ごみ収集経費						決算書頁		
273 -								237		
基本情報	コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業			
	施策	2-5 一般廃棄物			H16 年度～ R6 年度		01-04-02-02-01-01			
	基本事業	① ごみの処理コスト削減			担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先		
	事務事業名	ごみ収集経費				廃棄物対策課さくらリサイクルセンター		所長 葛原 秀哉 0595-20-9272		
事務事業の概要	対 象	市民から排出される一般廃棄物								
	目 的	分別を適正化し、収集する								
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、伊賀市廃棄物の処理及び清掃に関する法律等								
	内 容	・廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条第1項の規定に基づき、一般廃棄物処理計画を策定し収集業務を委託しました。なお、業務の実施に際し、委託業者に対しては、ごみ出しルールによる収集方法について説明を行い、不適切排出物には警告シールを貼付するなど分別を推進しました。 ・分別の利便を図り、適切な分別を促進するため、「資源・ごみ収集カレンダー」を作成して配布しました。 ・スマートフォンやタブレットからごみ分別方法と収集カレンダーを確認できるよう、2017(H29)年9月からごみ分別アプリを導入し、2023(R5)年度は、3,347件のダウンロードがありました。 ・日本語版のほか外国語版(英語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、ベトナム語)のごみ収集カレンダーを作成しました。 ・地域に対しては、自治会等が管理するごみ集積場の新設や改修に対する経費の助成(2分の1)を行い、地区集積場の環境整備を進めました。【資源・ごみ収集カレンダー作成部数】日本語版(伊賀北部) 39,000 枚、(青山地区) 9,000 枚、外国語版(5ヶ国語) 4,900 枚【集積場補助事業】 11 件(新規 1 件、改修 10 件)【負担金、補助及び交付金】青山支所管内の高齢者世帯等で、家庭から排出される粗大ごみについて、排出が困難な世帯を対象に、福祉収集事業実施した。【粗大ごみ】(福祉)収集件数・青山支所管内】 16 件 (R4実績 20件)								
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要				
需要費		3,813,042円		ごみ収集カレンダー印刷等						
役務費		775,724円		ごみ収集カレンダー翻訳等						
委託料		459,882,500円		ごみ収集業務委託料等						
使用料及び賃借料		594,000円		ごみ分別アプリシステム使用料						
備品購入費		1,798,280円		蛍光管回収ボックス購入						
負担金、補助及び交付金 (廃棄物対策課分)		632,000円		一般廃棄物集積場整備等補助金						
負担金、補助及び交付金		12,000円		粗大ごみ処理券購入費(青山支所管内)						
計		467,507,546円								
全体コスト(千円)	直接 事業費	項目		R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)		
		国県支出金		0	0	0	0	一般廃棄物処理手数料	48,201,631円	
		地方債		0	0	0	0	動物の死体取扱手数料	11,000円	
		その他		46,131	75,361	48,213	33,685			
		一般財源		409,934	405,275	419,295	463,130			
		合計(A)		456,065	480,636	467,508	496,815			
	事業費 人件費	正規職員	業務量	2.92 人	1.85 人	2.92 人	2.92 人			
			人件費	22,593	14,255	22,499	22,993			
		再任用職員	業務量	0.18 人	1.20 人	1.20 人	1.20 人			
			人件費	647	4,227	4,227	4,338			
		会計年度任用職員	業務量	2.00 人	2.00 人	2.00 人	2.00 人			
			人件費	3,234	3,358	3,358	3,552			
		小計(B)		26,474	21,840	30,084	30,883			
		合計(A+B)		482,539	502,476	497,592	527,698			
	市民1人当たりのコスト(円)		5,500	5,815	5,758	6,184				
指標	指標名		指標の説明		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	家庭から排出される資源・ごみの搬入量(集積場収集分)		収集区分の変更や適正な分別により、ごみが減少する。		t	目標	19,000	19,000	19,000	19,000
						実績	16,147	15,520	14,921	
	指標化できない成果		—		達成	117.7%	122.4%	127.3%		
方向	継続	課題								
		改善案								

整理番号		(会計)01一般会計(款)04衛生費(項)02清掃費(目)02塵芥処理費(大事業)01ごみ収集経費						決算書頁	
274 -								237	
基本情報	コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業		
	施策	2-5	一般廃棄物			H24 年度～ R6 年度	01-04-02-02-01-02		
	基本事業	②	ごみの資源化			担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	粗大ごみ戸別収集事業			人権生活環境部廃棄物対策課		課長 田中 稔美 0595-20-1050		
事務事業の概要	対 象	集積場で収集できない粗大ごみ(一般収集)及び高齢者や障がいのある方から排出される粗大ごみ(福祉収集)							
	目 的	一般粗大ごみの回収(一般収集)及び高齢者や障がいのある方(福祉収集)の搬出の負担軽減							
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、							
	内 容	粗大ごみを出す家庭の玄関先まで収集に向く粗大ごみ一般収集事業と、自力で粗大ごみを出すことが困難な高齢者や障がいのある方などの生活を支援する事業として、家屋から粗大ごみを搬出して収集する福祉収集を実施しました。 【粗大ごみ】(一般)収集件数】4,449件(R4実績 4,583件)(青山支所管内除く) 【粗大ごみ】(福祉)収集件数】319件(R4実績 311件)(青山支所管内除く)							
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要			
	需用費		2,405,081円		公用車燃料費 1,258,749円				
	役務費		556,996円		公用車修繕料 975,965円				
	委託料		6,022,500円		処理券印刷等 170,367円				
	使用料及び賃借料		1,277,760円		戸別収集受付電話料 283,996円				
	負担金、補助及び交付金		52,000円		粗大ごみ処理券取扱手数料 273,000円				
	計		10,314,337円		粗大ごみ戸別収集受付業務委託料				
					公用車賃借料(粗大ごみ戸別収集運搬用) (軽トラック1台 1.5tトラック1台)				
					研修会参加負担金				
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目		R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国県支出金		0	0	0	0	
			地方債		0	0	0	0	
			その他		2,758	2,838	2,644	2,678	
			一般財源		6,783	8,067	7,671	9,285	
		合計(A)		9,541	10,905	10,315	11,963		
		人件費	正規職員	業務量	3.00 人	2.10 人	2.23 人	2.13 人	
				人件費	23,211	16,181	17,183	16,772	
			再任用職員	業務量	0.90 人	1.80 人	1.80 人	1.80 人	
				人件費	3,231	6,340	6,340	6,507	
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
				人件費	0	0	0	0	
			小計(B)		26,442	22,521	23,523	23,279	
			合計(A+B)		35,983	33,426	33,838	35,242	
	市民1人当たりのコスト(円)		411	387	392	413			
指標	指標名		指標の説明		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	戸別収集(一般・福祉)件数	粗大ごみ収集件数		件	目標	5,000	5,000	5,000	5,000
					実績	4,927	4,894	4,768	
	指標化できない成果		—		達成	98.5%	97.9%	95.3%	
方向	改善	課題	収集件数は前年度同様に高い水準を保っており、依然としてニーズが高い。 処理費用の一部負担については、社会経済情勢に沿った手数料の見直しが必要である。 収集業務は市直営で収集を行っているが、職員の高齢化に伴う職員数減少に対応して、民間委託などを検討する必要がある。						
		改善案	収集業務の民間委託について検討を進めている。						

整理番号 275 -		(会計)01一般会計(款)04衛生費(項)02清掃費(目)02塵芥処理費(大事業)02ごみ中継施設維持管理経費						決算書頁 239				
基本情報	コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業						
	施策	2-5 一般廃棄物		H16 年度～ R6 年度		01-04-02-02-02-01						
	基本事業	① ごみの処理コスト削減		担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先					
	事務事業名	ごみ中継施設維持管理経費			廃棄物対策課さくらリサイクルセンター		所長 葛原 秀哉 0595-20-9272					
事務事業の概要	対 象	伊賀北部地域(上野、伊賀、島ヶ原、阿山、大山田支所管内)から収集または持ち込まれた一般廃棄物(可燃ごみ)										
	目 的	ごみ中継施設の維持管理										
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、伊賀市清掃施設の設置及び管理に関する条例等										
	内 容	収集された可燃ごみ及び硬質プラスチック・革製品類、可燃性粗大ごみを受入れし、市内民間業者の施設で焼却するための中継業務を行っています。 【中継施設からのごみ搬出量】 ・可燃ごみ 17,038.16トン ・可燃性粗大ごみ等 1,547.20トン										
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要						
	委託料		101,640,000円		ごみ中継施設運転維持管理業務委託 三重中央開発㈱							
			557,493,189円		廃棄物処理委託 三重中央開発㈱							
			4,496,800円		ごみ質分析、施設清掃、浄化槽管理等							
	燃料費		884,183円									
	光熱水費		18,801,080円		電気料金、水道料金							
	消耗品費		6,291,447円		設備部品等							
	修繕料		2,963,257円									
	工事請負費		49,132,160円		ごみ中継施設整備工事費							
	その他		1,590,727円									
	計		743,292,843円									
全体コスト(千円)	直接 事業費	項目		R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		国県支出金		0		0		0		0		
		地方債		0		45,200		45,200		39,600		
		その他		63,862		48,291		61,992		43,169		
		一般財源		666,701		713,270		636,101		719,142		
	事業費	合計(A)		730,563		806,761		743,293		801,911		
		人件費	正規職員	業務量	1.67 人	1.40 人	1.67 人	1.67 人				
				人件費	12,921	10,787	12,868	13,150				
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
				人件費	0	0	0	0				
			会計年度任用職員	業務量	1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人				
			人件費	1,617	1,679	1,679	1,776					
	小計(B)		14,538		12,466		14,547		14,926			
	合計(A+B)		745,101		819,227		757,840		816,837			
	市民1人当たりのコスト(円)		8,492		9,480		8,770		9,572			
指標	指標名		指標の説明		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
	可燃ごみ搬出量		ごみ中継施設として搬出した量		t	目標	18,000	18,000	18,000	18,000		
						実績	19,945	19,383	18,585			
	指標化できない成果		—			達成	90.2%	92.8%	96.9%			
方向	継続	課題										
		改善案										

整理番号		(会計)01一般会計(款)04衛生費(項)02清掃費(目)02塵芥処理費(大事業)03資源化ごみ処理及び施設維持管理経費						決算書頁		
276 -								241		
基本情報	コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業			
	施策	2-5 一般廃棄物			H16 年度～ R6 年度		01-04-02-02-03-01			
	基本事業	② ごみの資源化			担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先		
	事務事業名	資源化ごみ処理及び施設維持管理経費				廃棄物対策課さくらリサイクルセンター		所長 葛原 秀哉 0595-20-9272		
事務事業の概要	対 象	伊賀北部地域(上野、伊賀、島ヶ原、阿山、大山田支所管内)の一般廃棄物(金属類)								
	目 的	一般廃棄物のうち金属類などから資源化可能なものを選別し、売却する								
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、伊賀市清掃施設の設置及び管理に関する条例等								
	内 容	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づいて、伊賀北部地域から搬入された金属類などの一般廃棄物から資源化物を選別、破砕処理し、資源として売却しました。 【主な再資源化物と売却金額】 紙・布類 7,443,359円 金属類(鉄くず) 2,600,388円 金属類(アルミくず) 495,029円 金属類(電気コード) 2,534,964円 アルミ缶 5,400,604円 小型家電 159,104円 廃食用油 559,314円 鉄(スクラップ) 243,586円 〈合計〉 19,436,348円								
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要				
委託料		126,146,680円		施設維持管理及び保守点検業務委託料 神鋼環境メンテナンス㈱等						
		11,499,994円		不燃性廃棄物埋立処分委託料 ㈱ヤマゼン、三重中央開発㈱、エヌアイエ等						
使用料		1,808,400円								
消耗品費		4,486,449円		設備用部品等						
光熱水費		5,832,307円		電気料金、水道料金						
燃料費		437,541円								
修繕料		1,024,749円								
工事請負費		59,631,000円		資源化ごみ処理施設整備工事費						
		41,800,000円		繰越分						
負担金		132,500円		汚染負荷量						
計		252,799,620円								
全体コスト(千円)	直接 事業費	項目	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)			
		国県支出金	0	0	0	0	ごみ等処理手数料 6,203,000円			
		地方債	0	57,700	57,700	42,600	不燃性廃棄物処理手数料 3,837,089円 (不燃物処理場充当分除く)			
		その他	29,470	20,340	32,087	27,088	物品等売払代金 15,455,823円 (ストックヤード充当分除く)			
		一般財源	119,868	173,700	163,013	161,165	再商品合理化処理抛出金 6,590,937円			
	事業費 人件費	合計(A)	149,338	251,740	252,800	230,853				
		正規職員	業務量	0.80 人	0.85 人	0.80 人	0.80 人			
			人件費	6,190	6,550	6,164	6,300			
		再任用職員	業務量	0.10 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人			
			人件費	359	0	0	0			
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人			
			人件費	0	0	0	0			
		小計(B)	6,549	6,550	6,164	6,300				
		合計(A+B)	155,887	258,290	258,964	237,153				
	市民1人当たりのコスト(円)		1,777	2,989	2,997	2,779				
指標	指標名	指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	資源化物売却量	処理した金属類を売払した量		t	目標	600	600	600	600	
					実績	488	458	417		
	指標化できない成果	—		達成	81.3%	76.3%	69.5%			
方向	継続	課題								
		改善案								

整理番号 277 -		(会計)01一般会計(款)04衛生費(項)02清掃費(目)02塵芥処理費(大事業)03資源化ごみ処理及び施設維持管理経費						決算書頁 241				
基本情報	コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業						
	施策	2-5	一般廃棄物		H16 年度～ R6 年度	01-04-02-02-03-02						
	基本事業	①	ごみの処理コスト削減		担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先				
	事務事業名	ストックヤード維持管理経費		廃棄物対策課さくらリサイクルセンター		所長 葛原 秀哉 0595-20-9272						
事務事業の概要	対 象	伊賀北部地域(上野、伊賀、島ヶ原、阿山、大山田支所管内)の一般廃棄物(紙・布類)										
	目 的	一時保管し、業者へ引き渡す										
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、伊賀市清掃施設の設置及び管理に関する条例等										
	内 容	伊賀北部地域から収集した一般廃棄物(紙・布類)を再資源化事業者に取り引き渡すまでの間の一時保管のための適正管理を行いました。										
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要						
	委託料		3,179,735円		運営業務委託料 伊賀市シルバー人材センター							
			191,400円		警備業務委託料 イセツト(株)							
			69,554円		樹木剪定委託料							
	光熱水費		451,309円		電気料金、水道料金等							
	通信運搬費		88,527円		電話料金							
	役務費											
	修繕料											
	計		3,980,525円									
全体コスト(千円)	直接 事業費	項目		R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		国県支出金		0		0		0		0		
		地方債		0		0		0		0		
		その他		6,391		4,316		3,981		4,966		
		一般財源		0		0		0		0		
	合計(A)		6,391		4,316		3,981		4,966		物品等売払代金(紙布類) 3,980,525円 (7,443,359円)	
	事業費 人件費	正規職員		業務量 0.35 人		0.35 人		0.35 人		0.35 人		
				人件費 2,708		2,697		2,697		2,756		
		再任用職員		業務量 0.00 人		0.00 人		0.00 人		0.00 人		
				人件費 0		0		0		0		
		会計年度任用職員		業務量 0.00 人		0.00 人		0.00 人		0.00 人		
			人件費 0		0		0		0			
	小計(B)		2,708		2,697		2,697		2,756			
	合計(A+B)		9,099		7,013		6,678		7,722			
市民1人当たりのコスト(円)		104		82		78		91				
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	紙・布類の搬出量		業者へ引き渡した量		t	目標	1,000	1,000	1,000	1,000		
						実績	1,129	1,070	967			
	指標化できない成果		—			達成	112.9%	107.0%	96.7%			
方向	継続	課題										
		改善案										

整理番号 278 -		(会計)01一般会計(款)04衛生費(項)02清掃費(目)02塵芥処理費(大事業)04不燃物処理及び施設維持管理経費						決算書頁 241				
基本情報	コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業						
	施策	2-5	一般廃棄物		H16 年度～ R6 年度	01-04-02-02-04-01						
	基本事業	①	ごみの処理コスト削減		担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先				
	事務事業名	不燃物処理及び施設維持管理経費		廃棄物対策課さくらリサイクルセンター		所長 葛原 秀哉 0595-20-9272						
事務事業の概要	対 象	伊賀北部地域(上野、伊賀、島ヶ原、阿山、大山田支所管内)の一般廃棄物(瓦・コンクリートなど)										
	目 的	再資源化出来ない不燃物を埋め立て処理する										
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、伊賀市清掃施設の設置及び管理に関する条例等										
	内 容	伊賀北部地域の一般廃棄物(瓦・コンクリートなど)を埋立処理しました。また、不燃物処理場の適正な保全管理を行いました。										
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要						
	委託料		719,400円		不燃物処理場・しらせCC跡地環境調査業務委託 (㈱東海テクノ)							
			656,700円		草刈業務委託 伊賀市シルバー人材センター							
	燃料費		57,454円		軽油							
	光熱水費		137,232円		電気料金、水道料金等							
	修繕料		247,682円		重機修繕料等							
	通信運搬費		31,943円		電話料金							
	原材料費		99,000円									
	計		1,949,411円									
全体コスト(千円)	直接 事業費	項目		R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		国県支出金		0		0		0		0		
		地方債		0		0		0		0		
		その他		1,729		2,282		1,949		2,343		
		一般財源		0		0		0		0		
	合計(A)		1,729		2,282		1,949		2,343			
	事業費	正規職員	業務量	0.35 人	0.35 人	0.35 人	0.35 人					
			人件費	2,708	2,697	2,697	2,756					
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人					
			人件費	0	0	0	0					
		会計年度任用職員	業務量	1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人					
			人件費	1,617	1,679	1,679	1,776					
		小計(B)		4,325		4,376		4,376		4,532		
	合計(A+B)		6,054		6,658		6,325		6,875			
	市民1人当たりのコスト(円)		69		78		74		81			
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	処理量	埋立処分した量		t		目標	1,500	1,500	1,500	1,500		
					実績	1,528	1,304	1,130				
	指標化できない成果		—		達成	98.1%	115.0%	132.7%				
方向	継続	課題										
		改善案										

整理番号		(会計)01一般会計(款)04衛生費(項)02清掃費(目)03し尿処理費(大事業)01し尿収集経費						決算書頁	
279 -								241	

基本情報	コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業		
	施策	2-5	一般廃棄物	H16	年度～	R6	年度	01-04-02-03-01-01
	基本事業	③	生活排水の適正処理	担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先	
	事務事業名	し尿収集経費			廃棄物対策課浄化センター		所長 比口 博 0595-23-1179	

事務事業の概要	対 象	旧上野市市街地における収集を希望する世帯のし尿		
	目 的	適切に収集する		
	根拠法令等	伊賀市廃棄物の処理及び清掃に関する条例		
	内 容	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条第1項の規定に基づく一般廃棄物処理計画の策定により、管内におけるし尿収集に関する業務を、市の直営区域と許可業者による区域とに定めて行いました。 直営による収集は、旧上野市市街地を中心に、カレンダー方式で対象地区の収集日を定めて行う業務を行っていますが、市民からの緊急な収集要請にも随時対応しています。 令和5年度は、線路際等、収集車両積載のホースが足りない地区等でも、延長ホースを繋ぎ収集作業を行いました。 (直営収集による事業実績) ・し尿収集 - 件数 8,201件 - 収集量 1,965,780リットル ・し尿汲取券売捌き - 件数 181件(取扱店数 52箇所) - 金額 22,945,230円		
事業に要した 主な経費 など	経費		金額	摘要
	需用費		3,164,491円	消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費、修繕料
	手数料		1,147,219円	し尿汲取券売捌手数料
	自動車借上料		2,453,880円	パキューム車リース料
	負担金		13,000円	三重県安全運転管理者協議会負担金
計		6,778,590円		

全体コスト(千円)	直接 事業費	項目		R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		国県支出金		0	0	0	0	
		地方債		0	0	0	0	
		その他		0	0	0	0	
		一般財源		8,249	7,845	6,779	7,592	
	合計(A)		8,249	7,845	6,779	7,592		
	事業費	正規職員	業務量	7.00 人	7.00 人	7.00 人	7.00 人	
			人件費	54,159	53,935	53,935	55,118	
		再任用職員	業務量	1.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	3,590	0	0	0	
		会計年度任用職員	業務量	5.70 人	5.70 人	6.00 人	4.00 人	
			人件費	9,217	9,571	10,074	7,104	
	小計(B)		66,966	63,506	64,009	62,222		
合計(A+B)		75,215	71,351	70,788	69,814			
市民1人当たりのコスト(円)		858	826	820	819			

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	し尿収集量	市直営し尿収集によるし尿の収集量	ℓ	目標	2,200,000	2,100,000	2,000,000	1,900,000
				実績	2,179,290	2,093,010	1,965,780	
指標化できない成果		—		達成	101.0%	100.3%	101.7%	

方向	縮小	課題	人口の低下、下水道整備に伴い、生し尿の収集量が年々低下しており、市直営の収集業務体制について見直しが必要である。
		改善案	市直営のし尿収集業務を収集運搬許可業者への移管に向けた協議を行う。

整理番号		(会計)01一般会計(款)04衛生費(項)02清掃費(目)03し尿処理費(大事業)02し尿処理及び施設維持管理経費						決算書頁		
280 -								243		
基本情報	コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業			
	施策	2-5 一般廃棄物			H16 年度～ R6 年度		01-04-02-03-02-01			
	基本事業	③ 生活排水の適正処理			担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先		
	事務事業名	し尿処理及び施設維持管理経費				廃棄物対策課浄化センター		所長 比口 博 0595-23-1179		
事務事業の概要	対 象	市内より排出されるし尿及び浄化槽汚泥								
	目 的	衛生的な処理及び適正な管理を行う								
	根拠法令等	伊賀市清掃施設の設置及び管理に関する条例								
	内 容	令和2年4月から青山地区を含めた市内全域のし尿及び浄化槽汚泥を処理することができる新処理施設が稼働した。 また、運転管理については、15年間の長期包括契約を、プロポーザル方式で決定した業者と締結しました。 令和5年度においても、効率的な運転管理により、し尿及び浄化槽汚泥の適切な処理を行いました。 ●施設処理能力 170KI/日 処理方式 膜分離高負荷脱窒素方式 主な施設維持管理業務委託 ・新施設運転管理業務委託(15年間の長期包括委託契約) 316,800,000円(クボタ環境・伊賀環協共同体)								
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要				
	消耗品費		208,682円		施設設備管理用等					
	燃料費		31,862円		公用車燃料					
	修繕料		79,244円		施設設備修繕等					
	通信運搬費		147,035円		電話代					
	施設維持管理委託料		316,800,000円		施設維持管理業務委託料					
	施設設備保守点検委託料		79,200円		施設設備保守点検業務委託料等					
	工事請負費		1,338,700円		補修・改修工事費					
	その他経費		133,156円		借上料、NHK受信料、汚染負荷量賦課金他					
	計		318,817,879円							
全体コスト(千円)	直接 事業費	項目		R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)		
		国県支出金		0	0	0	0			
		地方債		0	0	0	0			
		その他		34,641	31,104	3,383	29,450			
		一般財源		284,006	287,710	315,435	292,026			
	合計(A)		318,647	318,814	318,818	321,476				
	事業費 人件費	正規職員	業務量	1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人			
			人件費	7,737	7,705	7,705	7,874			
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人			
			人件費	0	0	0	0			
		会計年度任用職員	業務量	0.30 人	0.30 人	1.00 人	1.00 人			
			人件費	486	504	1,679	1,776			
		小計(B)		8,223	8,209	9,384	9,650			
		合計(A+B)		326,870	327,023	328,202	331,126			
	市民1人当たりのコスト(円)		3,726	3,785	3,798	3,881				
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	水質検査の合格率		毎月放流水の水質検査を行い、適正に処理する。		%	目標	100%	100%	100%	100%
						実績	100%	100%	100%	
	指標化できない成果		—		達成	100%	100%	100%		
方向	改善	課題	令和2年度から青山地区を含めた伊賀市全域のし尿・浄化槽汚泥を処理できる新施設が稼働した。 近年の搬入量の推移については、し尿は減少しているが浄化槽汚泥は増加しており、搬入調整が必要な日もあった。							
		改善案	搬入量の調整を行うと共に、運転管理委託業者に適切な処理を行うように指導する。							

整理番号 281 -		(会計)01一般会計(款)05労働費(項)01労働費(目)01労働諸費(大事業)01シルバー人材センター運営等 経費						決算書頁 243																								
基本情報	コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業																										
	施策	3-6	就業・起業		H16 年度～ R6 年度	01-05-01-01-01-01																										
	基本事業	①	就労支援、職業相談		担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先																								
	事務事業名	シルバー人材センター運営等経費		産業振興部商工労働課		課長 古川 英一 0595-22-9669																										
事務事業の概要	対 象	市内在住の高年齢者																														
	目 的	高年齢者の就業機会の確保を目的とする伊賀市シルバー人材センターを支援し仕事の受託件数を増加させることで、高年齢者の雇用創出を図る																														
	根拠法令等	高年齢者等の雇用の安定等に関する法律																														
	内 容	高年齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づく事業を行うため、知事の認可を受けている公益財団法人伊賀市シルバー人材センターに対し、運営費及び高齢者活用・現役世代雇用サポート事業の支援を行いました。 (令和6年3月末会員数:725名) 高齢者職業相談を22回開催し、114件の相談を受けました。																														
	事業に要した 主な経費 など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th colspan="2">摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>修繕料</td> <td>93,500円</td> <td>シルバーワークプラザ外壁雨漏り修繕</td> <td>93,500円</td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>15,331,000円</td> <td>全国シルバー人材センター協会負担金</td> <td>50,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>三重県シルバー人材センター連合会負担金</td> <td>50,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>シルバー人材センター高齢者就業機会確保事業費補助金</td> <td>15,231,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>15,424,500円</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>								経費	金額	摘要		修繕料	93,500円	シルバーワークプラザ外壁雨漏り修繕	93,500円	負担金、補助及び交付金	15,331,000円	全国シルバー人材センター協会負担金	50,000円			三重県シルバー人材センター連合会負担金	50,000円			シルバー人材センター高齢者就業機会確保事業費補助金	15,231,000円	計	15,424,500円	
経費	金額	摘要																														
修繕料	93,500円	シルバーワークプラザ外壁雨漏り修繕	93,500円																													
負担金、補助及び交付金	15,331,000円	全国シルバー人材センター協会負担金	50,000円																													
		三重県シルバー人材センター連合会負担金	50,000円																													
		シルバー人材センター高齢者就業機会確保事業費補助金	15,231,000円																													
計	15,424,500円																															
全体コスト(千円)	直接 事業費	項目		R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)																								
		国県支出金		0	0	0	0																									
		地方債		0	0	0	0																									
		その他		0	0	0	0																									
		一般財源		15,331	15,531	15,425	15,531																									
	合計(A)		15,331	15,531	15,425	15,531																										
	事業費	正規職員	業務量	0.10 人	0.10 人	0.12 人	0.12 人																									
			人件費	774	771	925	945																									
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人																									
			人件費	0	0	0	0																									
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人																									
			人件費	0	0	0	0																									
		小計(B)		774	771	925	945																									
合計(A+B)		16,105	16,302	16,350	16,476																											
市民1人当たりのコスト(円)		184	189	190	194																											
指標	指標名		指標の説明		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																							
	仕事の受託件数		シルバー人材センターにおける仕事の受託件数		件	目標	5300	5300	5300	5300																						
						実績	5210	5277	5198																							
	指標化できない成果		—		達成	98.3%	99.6%	98.1%																								
方向	改善	課題	定年の延長や再雇用等、高齢者の雇用を取り巻く社会の状況が大きく変化しており、センターの会員数が減少傾向にある。																													
		改善案	I. II. 高齢者の就業の場を確保するため高齢者職業相談を継続し、会員拡大の支援を行うとともに、デジタル化の促進や受託機会創出のため企業等に対する営業活動を強化させる等側面的な支援を継続して行う。																													

整理番号		(会計)01一般会計(款)05労働費(項)01労働費(目)01労働諸費(大事業)02雇用、勤労者対策事業						決算書頁																							
282 -								243																							
基本情報	コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業																								
	施策	3-6	就業・起業			H16 年度～ R6 年度	01-05-01-01-02-01																								
	基本事業	①	就労支援、職業相談			担当 部署	評価責任者・連絡先																								
	事務事業名	雇用、勤労者対策事業			課長 古川 英一 0595-22-9669																										
事務事業の概要	対 象	地元での就職を希望する学生及び求職者、市内の労働福祉団体及び市内に居住・勤務する労働者																													
	目 的	地元企業への就職による地域経済の後継者を育成する。市内に居住、勤務する労働者に対して労働者福祉の向上を図る。																													
	根拠法令等																														
	内 容	・名張市、上野商工会議所、伊賀市商工会、名張商工会議所との共催により、伊賀市・名張市合同企業説明会を開催しました。(3月9日、参加企業70社、参加者100人) ・甲賀市、伊賀公共職業安定所、甲賀公共職業安定所との共催により、伊賀甲賀地域就職面接会を開催しました。(11月14日、参加企業:20社、参加者:77人) ・上野商工会議所、伊賀市商工会との共催及び市内高校の協力のもと、企業と高校の意見交換会(12月21日、参加企業26社:、参加高校:3校、参加機関:3機関)、市内企業による出前授業(2月21日、参加企業12社:、参加高校:あけぼの学園高校)を新たに実施しました。 ・市内に居住する未就労者及び離職者の生活環境の安定的な向上を図るため、職業相談員を配置し、求人や求職情報の収集及び提供などの職業相談業務にあたり、就労支援に取組みました。(配置人数1人、相談回数183回) ・「いが若者サポートステーション」等と連携し、臨床心理士によるカウンセリング経費に対して支援を行いました。 ・勤労者の生活安定や福祉向上のため、金融機関と連携して資金の融資を行いました。 ・労働環境整備に向けた取組みの一環として、三重県、伊賀公共職業安定所との協働で市内企業を訪問し、人権問題等に関する啓発活動を行いました。また、「伊賀市人権学習企業等連絡会」を組織し、人権問題等に関する研修会を行いました。 ・令和4年度に解体の労働会館跡地の適正管理のため草刈業務を委託すると共に、返還に向け相続人調査を行いました。																													
	事業に要した 主な経費 など	<table><tr><th>経費</th><th>金額</th><th>摘要</th></tr><tr><td>報償費</td><td>27,000円</td><td>若者無業者自立支援促進事業臨床心理士謝礼 27,000円</td></tr><tr><td>旅費</td><td>130,018円</td><td>職業相談員活動旅費 130,018円</td></tr><tr><td>需用費</td><td>5,700円</td><td>消耗品費 5,700円</td></tr><tr><td>委託料</td><td>1,833,899円</td><td>労働会館跡地草刈業務委託 208,600円 相続人等調査業務委託 1,625,299円</td></tr><tr><td>負担金、補助及び交付金</td><td>1,280,657円</td><td>労務対策協議会負担金 200,000円 U・J・ターン促進事業負担金 256,657円 勤労者福祉事業補助金 800,000円 その他 24,000円</td></tr><tr><td>貸付金</td><td>40,000,000円</td><td>勤労者住宅・生活資金融資貸付金 40,000,000円</td></tr><tr><td>計</td><td>43,277,274円</td><td></td></tr></table>							経費	金額	摘要	報償費	27,000円	若者無業者自立支援促進事業臨床心理士謝礼 27,000円	旅費	130,018円	職業相談員活動旅費 130,018円	需用費	5,700円	消耗品費 5,700円	委託料	1,833,899円	労働会館跡地草刈業務委託 208,600円 相続人等調査業務委託 1,625,299円	負担金、補助及び交付金	1,280,657円	労務対策協議会負担金 200,000円 U・J・ターン促進事業負担金 256,657円 勤労者福祉事業補助金 800,000円 その他 24,000円	貸付金	40,000,000円	勤労者住宅・生活資金融資貸付金 40,000,000円	計	43,277,274円
経費	金額	摘要																													
報償費	27,000円	若者無業者自立支援促進事業臨床心理士謝礼 27,000円																													
旅費	130,018円	職業相談員活動旅費 130,018円																													
需用費	5,700円	消耗品費 5,700円																													
委託料	1,833,899円	労働会館跡地草刈業務委託 208,600円 相続人等調査業務委託 1,625,299円																													
負担金、補助及び交付金	1,280,657円	労務対策協議会負担金 200,000円 U・J・ターン促進事業負担金 256,657円 勤労者福祉事業補助金 800,000円 その他 24,000円																													
貸付金	40,000,000円	勤労者住宅・生活資金融資貸付金 40,000,000円																													
計	43,277,274円																														
全体コスト(千円)	直接 事業費	項目	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)																								
		国県支出金	0	0	0	246																									
		地方債	0	0	0	0																									
		その他	40,000	40,000	40,000	40,000																									
		一般財源	1,324	3,012	3,278	1,823																									
	合計(A)	41,324	43,012	43,278	42,069																										
	事業費 人件費	正規職員	業務量	0.45 人	0.50 人	0.48 人	0.48 人	その他(令和6年度事業費の特定財源) ・勤労者住宅・生活資金融資貸付金元利収入: 40,000千円 ・デジタル田園都市国家構想交付金:246千円																							
			人件費	3,482	3,853	3,699	3,780																								
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人																								
			人件費	0	0	0	0																								
会計年度任用職員		業務量	1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人																									
		人件費	1,617	1,679	1,679	1,776																									
小計(B)	5,099	5,532	5,378	5,556																											
合計(A+B)	46,423	48,544	48,656	47,625																											
市民1人当たりのコスト(円)	530	562	564	559																											
指標	指標名	指標の説明		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																							
	内定者数	合同就職セミナーをきっかけとして内定した人数(前年実績値)		人	目標	4	4	5	6																						
					実績	4	11	26																							
	指標化できない成果	—		達成	100.0%	275.0%	520.0%																								
方向	改善	課題	・内定者数に漏れがないよう、体系立てた追跡調査を実施していく必要がある。 ・就職後、短期間での離職する方もいるため、企業の実態を知る機会を多く創出する必要がある。 ・就職セミナーへの地元企業の参加ニーズに比べると求職者の参加数は多くない。																												
		改善案	Ⅰ. 就職セミナーの参加者に対する追跡調査を実施する。 Ⅰ. Ⅱ. 企業と求職者のマッチングの機会を現状以上確保する。更なる近隣市町村との連携強化により、他地域の求職者に向けたアプローチを工夫する。																												

整理番号		(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)01農業委員会費(大事業)02農業委員会管理経費						決算書頁			
283 -								245			
基本情報	コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業				
	施策	3-2	農業			H16 年度～ R6 年度	01-06-01-01-02-01				
	基本事業	③	担い手の確保・育成			担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先		
	事務事業名	事務局管理経費			伊賀市農業委員会事務局		事務局次長 前川 博善 0595-22-9720				
事務事業の概要	対 象	農業者及び農地所有者									
	目 的	農業生産力の増進及び農業経営の合理化を図る。									
	根拠法令等	農業委員会等に関する法律、農地法、農業経営基盤強化促進法									
	内 容	○農業委員会の運営 ・年次総会(1回)、新規営農面接審査会(10回、20件)、月次総会及び役員会(各12回)、農業委員・農地利用最適化推進委員の合同研修会(3回) ・市広報掲載(7月号:農地パトロール強化期間、9月号:農業委員会委員・農地利用最適化推進委員の紹介、2月号:農業者年金加入促進 農地転用の手続き、3月号:令和6年度総会日程、令和6年度農作業賃金基準表) ・農家の相談業務(随時、農地法許認可申請等) ○法定業務 ・農地法の権利移動の審査・許可業務(第3条:167件、第4条:21件、第5条:196件、非農地証明:24件) ・遊休農地に関する措置(農地パトロールによる利用状況調査・利用意向調査) ・農業経営基盤強化促進法に基づく業務(利用権設定:514件、所有権移転:10件) ○農業振興業務 ・農業及び農業者に関する情報提供の業務 ・農地基本台帳の整備及び地図情報化の推進に関する業務									
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要					
報酬		11,716,157円		農業委員会委員、農地利用最適化実績報酬							
旅費		394,272円		農業委員会委員、農地利用最適化推進委員実費弁償							
需用費		420,315円		消耗品費253,115円、印刷製本費167,200円							
役務費		526,560円		通信運搬費406,560円、傷害保険料120,000円							
委託料		4,677,200円		電算処理等委託料 (株)ジオフォーラム							
使用料及び賃借料		565,620円		自動車借上料150,220円、有料道路通行料9,280円			159,500円				
				システム等使用料144,760円、同借上料261,360円			406,120円				
備品購入費		84,260円		電算機器購入費							
負担金、補助及び交付金		1,278,000円		三重県農業会議負担金							
計		19,662,384円									
全体コスト(千円)	直接 事業費	項目		R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)			
		国県支出金		8,528	7,543	8,716	7,481				
		地方債		0	0	0	0				
		その他		0	0	0	0				
		一般財源		9,351	12,154	10,946	13,459				
	合計(A)		17,879	19,697	19,662	20,940					
	事業費 人件費	正規職員	業務量	3.50 人	3.50 人	3.50 人	3.50 人	県補助金 ・農業委員会交付金 6,378,000円 ・農地利用最適化交付金 2,338,000円			
			人件費	27,080	26,968	26,968	27,559				
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
			人件費	0	0	0	0				
		会計年度任用職員	業務量	0.60 人	0.60 人	0.60 人	0.60 人				
			人件費	971	1,008	1,008	1,066				
		小計(B)		28,051	27,976	27,976	28,625				
		合計(A+B)		45,930	47,673	47,638	49,565				
	市民1人当たりのコスト(円)		524	552	552	581					
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	利用権を設定した筆数	所有者の高齢化等で耕作困難となった農地を担い手に貸すことで、農業経営の合理化を図る。		筆	目標	2,000	2,000	2,000	2,000		
					実績	2,712	1,566	1,372			
	指標化できない成果		—		達成	135.6%	78.3%	68.6%			
方向	改善	課題	農業者の高齢化、当市の主要農作物である米の販売価格の低迷、鳥獣害による被害、世界情勢による農業用資材の高騰、後継者不足等を原因として農業者が減少しており、耕作する農業者がいない「遊休農地」が年々増加している。								
	改善案	農業委員会委員・農地利用最適化推進委員が実施する農地パトロールにて市内各地の遊休農地を洗い出すとともに、遊休農地の所有者等に対して利用意向調査を実施する。また、「地域計画」について問い合わせがあった地区や、策定に向けて検討を開始した地区に対して、委員とともに会議に参加等して参画し、目標地図(素案)の策定を目指すことで、遊休農地を含む農地利用の最適化を図る。									

整理番号		(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)01農業委員会費(大事業)03農業者年金関係業務経費						決算書頁																				
284 -								247																				
基本情報	コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業																					
	施策	3-2	農業			H16 年度～ R6 年度	01-06-01-01-03-01																					
	基本事業	③	担い手の確保・育成			担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先																			
	事務事業名	農業者年金業務経費			伊賀市農業委員会事務局		事務局次長 前川 博善 0595-22-9720																					
事務事業の概要	対 象	20歳以上の加入資格を有する農業者、加入者及び受給者																										
	目 的	農業者の老後の生活の安定及び福祉の向上のため。																										
	根拠法令等	独立行政法人農業者年金基金法																										
	内 容	・伊賀ふるさと農業協同組合と連携して事務を受託している事業。 ・「広報いが」2024年2月号にて新規加入者促進記事の掲載を行うとともに、概ね毎月開催している新規営農面接審査会において、新規営農者への加入促進を行ったが、新規加入者を獲得することができなかった。 ・年金給付に関する業務 裁定請求、現況届、死亡関係届、口座変更届等に関する書類受付・精査及び独立行政法人農業者年金基金への提出。 年金受給者から経営移譲者への実態を伴った経営移譲の指導や、年金受給者の無届での農業の再開防止。																										
	事業に要した 主な経費 など	<table><thead><tr><th colspan="2">経費</th><th>金額</th><th colspan="2">摘要</th></tr></thead><tbody><tr><td>需用費</td><td></td><td>4,559円</td><td colspan="2">消耗品費</td></tr><tr><td>役務費</td><td></td><td>5,020円</td><td colspan="2">通信運搬費</td></tr><tr><td colspan="2">計</td><td>9,579円</td><td colspan="2"></td></tr></tbody></table>								経費		金額	摘要		需用費		4,559円	消耗品費		役務費		5,020円	通信運搬費		計		9,579円	
経費		金額	摘要																									
需用費		4,559円	消耗品費																									
役務費		5,020円	通信運搬費																									
計		9,579円																										
全体コスト(千円)	直接 事業費	項目	R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)																	
		国県支出金	0		0		0		0																			
		地方債	0		0		0		0																			
		その他	14		17		10		17																			
		一般財源	0		0		0		0																			
	事業費	合計(A)	14		17		10		17																			
		正規職員	業務量	0.50	人	0.50	人	0.50	人	0.50	人																	
			人件費	3,869		3,853		3,853		3,937																		
			再任用職員	業務量	0.00	人	0.00	人	0.00	人	0.00	人																
				人件費	0		0		0		0																	
会計年度任用職員	業務量	0.40	人	0.40	人	0.40	人	0.40	人																			
	人件費	647		672		672		711																				
小計(B)	4,516		4,525		4,525		4,648																					
合計(A+B)	4,530		4,542		4,535		4,665																					
市民1人当たりのコスト(円)	52		53		53		55																					
指標	指標名	指標の説明			単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																		
	農業者年金新規加入数	年度末時点の年金新規加入者数			人	目標	1	1	1	1																		
						実績	0	0	0																			
	指標化できない成果	—			達成	0%	0%	0%																				
方向	改善	課題	若い世代の農業者年金の新規加入者がいない。																									
		改善案	農業者年金は国の制度であり、当該事業は独立行政法人農業者年金基金法に基づく委託業務になります。年金に加入できる農業者は、年間60日以上農業に従事する20歳以上65歳未満の国民年金第1号被保険者です。市から農業次世代人材投資資金を受給している新規就農者や、毎月の新規営農面接審査会に出席される農業者の中で農業者年金の加入対象者の方に対して、制度内容や有利な事項等を説明し、加入者の獲得を行います。																									

整理番号		(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)01農業委員会費(大事業)04農地集積・集約化対策事業						決算書頁		
285 -								247		
基本情報	コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業			
	施策	3-2 農業			H23 年度～ R6 年度		01-06-01-01-04-01			
	基本事業	③ 担い手の確保・育成			担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先		
	事務事業名	機構集積支援事業				伊賀市農業委員会事務局		事務局次長 前川 博善 0595-22-9720		
事務事業の概要	対 象	市内の全農地と遊休農地所有者								
	目 的	担い手への農地集積・集約化を図るため。								
	根拠法令等	農地中間管理事業の推進に関する法律、農地法								
	内 容	・農地中間管理機構等との連携を効果的かつ効率的に遂行するために、市内にある農地の利用状況について、8月～10月にかけて、農地法第30条に基づく利用状況調査(田畑併せて34,652筆)を実施。 ・調査結果を取りまとめ、遊休農地所有者に対し、農地利用意向調査(185件、294筆、30.4ha)を実施。 ・調査結果を農地情報支援システムにデータを入力。 ・遊休農地の利用意向調査対象……農地法第32条第1項の規定に該当する農地の所有者								
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要				
	需用費		340,394円		印刷製本費(利用意向調査票等)					
	役務費		40,910円		通信運搬費(利用意向調査)					
	計		381,304円							
全体コスト(千円)	直接 事業費	項目		R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)		
		国県支出金		143	1,985	381	789			
		地方債		0	0	0	0			
		その他		0	0	0	0			
		一般財源		0	0	0	0			
	合計(A)		143	1,985	381	789				
	事業費 人件費	正規職員	業務量	1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人			
			人件費	7,737	7,705	7,705	7,874			
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人			
			人件費	0	0	0	0			
		会計年度任用職員	業務量	1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人			
			人件費	1,617	1,679	1,679	1,776			
小計(B)		9,354	9,384	9,384	9,650					
合計(A+B)		9,497	11,369	9,765	10,439					
市民1人当たりのコスト(円)		109	132	113	123					
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	農業経営基盤強化促進法による所有権移転の面積		売り手が農地中間管理機構に売買、農地中間管理機構が買い手に売買した農地の面積		㎡	目標	35,000	40,000	45,000	50,000
						実績	34,694	59,457	19,820	
	指標化できない成果		—		達成	99.1%	148.6%	44.0%		
方向	改善	課題	三重県農地中間管理機構、公益財団法人三重県農林水産支援センターが所管している事業の内容について、三重県独自のルールもあって、一般の方に正確な情報が伝わっていません。							
	改善案	三重県内の農地中間管理事業については、借り方貸し方両方が揃っていないと機構が業務を受け付けられないなどの三重県独自のルールがあり、市民の認識と相違がありました。また、農業経営基盤強化促進法による所有権移転についてもなかなか一般の方への周知が広がらない傾向にありました。ですが、来年4月1日から県内の利用権設定については全て支援センター内にある管理機構が事務を担うことから、この改正の周知とともに基盤強化促進法による所有権移転についても啓発を図ります。								

整理番号								決算書頁	
286 -		(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)02農業総務費(大事業)02事務管理経費						247	

基本情報	コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業		
	施策	3-2	農業	H16	年度～	R6	年度	01-06-01-02-02-01
	基本事業	①	農畜産物の生産振興	担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先	
	事務事業名	事務管理経費			産業振興部農林振興課		課長 前川 博善 0595-22-9712	

事務事業の概要	対 象	農業振興事業を実施するために必要な事務費用等		
	目 的	農業振興事業を円滑に実施する		
	根拠法令等			
	内 容	農業振興団体との連携を図りつつ、農業に関する一般事務を行います。		

事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要
	需用費	1,018,340円	光熱水費469,008円,消耗品費99,370円,修繕料378,950円
	役務費	116,410円	旅費43,400円、燃料費27,612円
	委託料	1,273,883円	道路賠償責任保険料(農道・林道)114,210円他 農業情報支援システム保守業務委託132,000円 大内・清水排水樋門操作点検業務委託488,400円 農村公園維持管理165,400円,草刈業務488,083円
	使用料及び賃借料	271,950円	電算機借上221,760円、有料道路通行料32,500円他 機械器具借上料13,090円
	負担金、補助及び交付金	819,512円	木興揚水機場施設維持管理費交付金295,807円他
	積立金	31,833円	ふるさと水と土保全対策基金積立金31,833円
	計	3,531,928円	

全体コスト(千円)	直接 事業費	項目	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) ・法定外公共物使用料 2,711,666円 ・ふるさと水と土保全対策基金利子 31,833円 ・農業用水管設置使用料 4,600円 ・複写料 11,840円		
		国県支出金	0	0	0	0			
		地方債	0	0	0	0			
		その他	2,645	2,533	2,760	2,522			
		一般財源	2,281	1,512	772	1,803			
	事業費	合計(A)	4,926	4,045	3,532	4,325			
		正規職員	業務量	1.56 人	1.56 人	1.56 人		1.56 人	
			人件費	12,070	12,020	12,020		12,284	
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人		0.00 人	0.00 人
				人件費	0	0		0	0
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人		0.00 人	0.00 人
		人件費		0	0	0		0	
	小計(B)	12,070	12,020	12,020	12,284				
	合計(A+B)	16,996	16,065	15,552	16,609				
市民1人当たりのコスト(円)		194	186	180	195				

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	—	—	—	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	
指標化できない成果	事務費であるため			達成	—	—	—	

方向	継続	課題	
		改善案	

整理番号	(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)02農業総務費(大事業)04農道維持管理経費	決算書頁
287 -		249

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-2 農業	H16 年度～	R6 年度	01-06-01-02-04-01
	基本事業	② 農業・農村の多面的機能維持向上	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	広域農道・農免道路維持管理経費		産業振興部農村整備課	課長 松尾 卓哉 0595-41-0104

事務事業の概要	対 象	農道利用者		
	目 的	農道利用者が安全に通行できるよう維持管理を行う。		
	根拠法令等	自治会等への草刈り業務委託実施要領		
	内 容	広域道路を常時良好な状態に保つよう、比較的小規模な損傷箇所について、修繕工事を行います。また、路肩の除草、冬期には融雪剤散布等により道路機能を維持します。 伊賀市農道総延長 L＝199.4km、内直轄農道管理延長 L＝37.5km ・広域農道・農免道路舗装修繕 N＝3箇所 ・広域農道維持管理委託 へい獣処理 N＝1件 ・広域農道草刈業務委託 N＝23箇所(シルバー2件、業者11件、地元10件) ・雪氷対策業務委託 N＝2工区 ・土砂等撤去業務委託 N＝1件		
事業に要した 主な経費 など	経費		金額	摘要
	需用費		1,330,781円	光熱水費 210,981円 修繕料 1,119,800円
	委託料		12,165,259円	広域農道依那古工区舗装補修工事他2件 広域農道維持管理委託料(へい獣処理) 18,700円 草刈業務委託料 23件 11,716,569円 (うちシルバー2件、業者11件、地元10件)
				雪氷対策業務委託料 176,990円 土砂等撤去業務委託料 253,000円
	原材料費		315,957円	広域農道(下柘植～山畑)堆積土砂撤去業務委託 資材費 315,957円
	計		13,811,997円	

全体コスト(千円)	直接 事業費	項目		R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		国県支出金		0	0	0	700	
		地方債		0	0	0	0	
		その他		0	0	0	0	
		一般財源		15,785	14,734	13,812	14,856	
	合計(A)			15,785	14,734	13,812	15,556	
	事業費 人件費	正規職員	業務量	0.40 人	0.40 人	0.40 人	0.40 人	
			人件費	3,095	3,082	3,082	3,150	
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	
		小計(B)		3,095	3,082	3,082	3,150	
	合計(A+B)			18,880	17,816	16,894	18,706	
	市民1人当たりのコスト(円)			216	207	196	220	

指 標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	—	—	—	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	
	指標化できない成果	維持修繕のため計画的な事業計画が立てられない。	達成		—	—	—	

方 向	継続	課題	
		改善案	

整理番号 288 -		(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)02農業総務費(大事業)05地すべり防止区域維持管理受託事業						決算書頁 249	
基本情報	コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業			
	施策	3-2	農業	H16 年度～ R6 年度		01-06-01-02-05-01			
	基本事業	②	農業・農村の多面的機能維持向上	担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先		
	事務事業名	地すべり防止区域維持管理受託事業			産業振興部農村整備課		課長 松尾 卓哉 0595-41-0104		
事務事業の概要	対 象	地すべり防止地域に指定された府中・大谷地区							
	目 的	地すべり等防止法により指定されている地すべり防止区域の維持管理を受託して行う。							
	根拠法令等	地すべり等防止法(昭和33年法律第30号)第3条・第7条							
	内 容	地すべり等防止法(昭和33年法律第30号)により指定されている府中地区・三田地区の地すべり防止区域の巡視管理・状況調査の委託を行いました。 ・府中地区(外山・坂之下・東条・西条・土橋・山神) A=392.9ha ・三田地区(大谷) A=36.3ha ・管理総面積 A=429.2ha							
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要			
	委託料		315,000円		地すべり防止区域維持管理委託料 ※事務費15,000円含む (府中地区): 外山・坂之下・東条・西条・土橋・山神 (三田地区): 大谷				
	計		315,000円						
全体コスト(千円)	直接 事業費	項目		R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		国県支出金		300	315	315	315		
		地方債		0	0	0	0		
		その他		0	0	0	0		
		一般財源		0	0	0	0		
	合計(A)		300	315	315	315			
	事業費	正規職員	業務量	0.10 人	0.10 人	0.10 人	0.10 人		
			人件費	774	771	771	788		
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
			人件費	0	0	0	0		
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
			人件費	0	0	0	0		
		小計(B)		774	771	771	788		
	合計(A+B)		1,074	1,086	1,086	1,103			
市民1人当たりのコスト(円)		13	13	13	13				
指標	指標名		指標の説明		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	委員会及び避難訓練の実施		委員会及び避難訓練の実施回数		回	目標	2	2	2
						実績	2	2	
	指標化できない成果		—		達成	100%	100%	100%	
方向	継続	課題							
		改善案							

整理番号 289 -		(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)02農業総務費(大事業)07下水道事業						決算書頁 249									
基本情報	コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業										
	施策	7-2	財政運営			H29 年度～ R6 年度	01-06-01-02-07-01										
	基本事業	①	持続可能な財政運営			担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先								
	事務事業名	農業集落排水事業			財務部財政課		課長 竹森 昭治 0595-22-9608										
事務事業の概要	対 象	農業集落排水事業															
	目 的	農業集落排水処理施設の経営健全化を図る。															
	根拠法令等	総務省通知「地方公営企業繰出金について」															
	内 容	下水道事業会計農業集落排水事業において、農業集落排水処理施設の経営健全化を図るため、施設維持管理に要する直接的経費を使用料で賄うこととし、一般会計から次のとおり補助しました。 【農業集落排水事業補助】 ・下水道事業債の償還に要する経費(元金・利息) ・下水道事業人件費に要する経費 【農業集落排水事業負担金】 ・大山田農業集落家庭生活雑排水処理施設の維持管理に要する経費															
	事業に要した 主な経費 など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>665,274,683円 1,522,295円</td> <td>農業集落排水事業補助 農業集落排水事業負担金</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>666,796,978円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								経費	金額	摘要	負担金、補助及び交付金	665,274,683円 1,522,295円	農業集落排水事業補助 農業集落排水事業負担金	計	666,796,978円
経費	金額	摘要															
負担金、補助及び交付金	665,274,683円 1,522,295円	農業集落排水事業補助 農業集落排水事業負担金															
計	666,796,978円																
全体コスト(千円)	直接 事業費	項目		R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 総務省の通知に基づく繰出金(補助・負担金)については、地方交付税等において考慮するものとされています。									
		国県支出金		0	0	0	0										
		地方債		0	0	0	0										
		その他		0	0	0	0										
		一般財源		679,772	669,804	666,797	668,516										
	合計(A)		679,772	669,804	666,797	668,516											
	事業費	正規職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人										
			人件費	0	0	0	0										
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人										
			人件費	0	0	0	0										
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人										
			人件費	0	0	0	0										
		小計(B)		0	0	0	0										
合計(A+B)		679,772	669,804	666,797	668,516												
市民1人当たりのコスト(円)		7,747	7,751	7,716	7,834												
指標	指標名		指標の説明		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度								
	—		—		—	目標	—	—	—								
	—		—		—	実績	—	—	—								
	指標化できない成果		成果を求める事業ではない。		達成	—	—	—	—								
方向	継続	課題															
		改善案															

整理番号		(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)01農業振興経費						決算書頁	
290 -								249	

基本情報	コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業		
	施策	3-2	農業	H16	年度～	R6	年度	01-06-01-03-01-01
	基本事業	③	担い手の確保・育成	担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先	
	事務事業名	農業振興事務経費			産業振興部農林振興課		課長 前川 博善 0595-22-9712	

事務事業の概要	対 象	農林政策に係る関係機関		
	目 的	関係機関との連携や情報収集・提供によって、円滑な事業推進を図る		
	根拠法令等	産業振興部関係補助金等交付要綱		
	内 容	各関係機関・団体の活動を助成することにより、持続的な組織の育成を図り、特色ある地域農林業の確立に努めました。		
事業に要した 主な経費 など	経費		金額	摘要
	使用料及び賃借料 負担金、補助及び交付金		72,000円 323,500円 197,000円 70,000円 66,000円 60,000円 45,000円 134,000円 1,799円 1,155,000円 2,124,299円	寺田地区共同農機具保管庫用敷地賃貸借料 伊賀ふるさと農業振興協議会負担金 伊賀農業改良普及事業協議会負担金 伊賀園芸振興協議会負担金 青蓮寺開発地域営農対策協議会経費分担金 青空ネット伊賀(青空市推進協議会)支援事業補助金 全国山村振興連盟会費等 45,000円 伊賀市認定農業者協議会補助金 弁護士業務委託料 建物除却工事設計業務委託料(寺田農機具倉庫)

全体コスト(千円)	直接 事業費	項目		R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		国県支出金		0	0	0	0	
		地方債		0	0	0	0	
		その他		0	902	903	902	
		一般財源		1,332	100	1,221	10,814	
	合計(A)		1,332	1,002	2,124	11,716		
	事業費	正規職員	業務量	0.16 人	0.16 人	0.16 人	0.16 人	
			人件費	1,238	1,233	1,233	1,260	
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	
		小計(B)		1,238	1,233	1,233	1,260	
		合計(A+B)		2,570	2,235	3,357	12,976	
	市民1人当たりのコスト(円)		30	26	39	153		

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	—	—	—	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	
指標化できない成果	各種補助金、負担金であるため		達成	—	—	—		

方向	改善	課題	今後の運営のあり方について検討が必要な協議会に対する理解や調整をまとめていくことが課題となっています。
		改善案	今後の運営のあり方について検討が必要な協議会に対する理解や調整をまとめていくことが課題となっています。

整理番号		(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)01農業振興経費						決算書頁	
291 -								249	

基本情報	コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	3-2	農業	H22 年度～	R6 年度	01-06-01-03-01-02	
	基本事業	①	農畜産物の生産振興	担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	耕作放棄地再生利活用対策事業			産業振興部農林振興課		課長 前川 博善 0595-22-9712

事務事業の概要	対 象	市内に所在する耕作放棄地(農業振興地域内農用地に限る)の解消する事業主	
	目 的	耕作放棄地面積の減少および作物収量の向上	
	根拠法令等	伊賀市耕作放棄地再生事業補助金交付要綱	
	内 容	耕作放棄地再生活動を計画する事業体に対し、10aあたりの単価を設定し交付金の補助を行いました。 補助金の単価として、 ・耕作放棄地を解消し、菜種の作付けが見込まれる農地・・・10aあたり50,000円 ・耕作放棄地を解消し、有機農業による作物の作付けが見込まれる農地・・・10aあたり50,000円 ・上記以外で耕作放棄地を再生する農地・・・10aあたり30,000円の3タイプを挙げています。 令和5年度では、中柘植地区及び沖地区で2経営体が事業を実施し、菜種を作付けることを目的として8,075㎡の耕作放棄地を再生しました。	

事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要
	負担金、補助及び交付金	403,500円	耕作放棄地再生事業補助金 403,500円 ・中柘植地区:199,000円(3,985㎡) ・沖地区:204,500円(4,090㎡)
	計	403,500円	

全体コスト(千円)	直接 事業費	項目	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		国県支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	170	480	404	450		
	合計(A)	170	480	404	450			
	事業費	正規職員	業務量	0.10 人	0.20 人	0.20 人		0.20 人
			人件費	774	1,541	1,541		1,575
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
小計(B)	774	1,541	1,541	1,575				
合計(A+B)	944	2,021	1,945	2,025				
市民1人当たりのコスト(円)	11	24	23	24				

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	交付面積・農地面積	耕作放棄地の活用のため、取組、農地として活用可能となる農地面積	10a	目標	4	4	10	15
				実績	3.3	3.9	8.1	
	指標化できない成果	—	達成	82.5%	97.5%	81%		

方向	改善	課題	予算の都合上、まとまった農地への取組みができない。
		改善案	内容を精査し、国の事業との住み分けを図る。

整理番号												決算書頁																
293 -		(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)03地域農政推進対策事業										251																
基本情報		コード	名称				事業期間			会計-款-項-目-大事業-中事業																		
	施策	3-2	農業				H16 年度～ R6 年度			01-06-01-03-03-01																		
	基本事業	③	担い手の確保・育成				担当 部署	部・課名等			評価責任者・連絡先																	
	事務事業名	農業経営基盤強化促進事業				産業振興部農林振興課			課長 前川 博善 0595-22-9712																			
事務事業の概要	対 象	農業経営を営み、又は営もうとする者																										
	目 的	農業経営改善計画を審査して、担い手を育成する																										
	根拠法令等	農業経営基盤強化促進法、伊賀市農業経営基盤強化促進協議会条例、農業委経基盤の強化の促進に関する基本的な構想																										
	内 容	農業経営者から申請された農業経営改善計画認定申請書を伊賀市農業経営基盤強化促進基本構想に示された農業経営の目標に沿って年4回審査を行い認定します。 農業経営改善計画は新規10件、更新31件、変更6件を認定しました。青年等就農計画は1件を認定しました。																										
	事業に要した 主な経費 など	<table><tr><th>経費</th><th>金額</th><th colspan="2">摘要</th></tr><tr><td>報酬</td><td>180,000円</td><td>農業経営基盤強化促進協議会委員報酬</td><td>180,000円</td></tr><tr><td>旅費</td><td>18,870円</td><td>農業経営基盤強化促進協議会委員旅費</td><td>18,870円</td></tr><tr><td>計</td><td>198,870円</td><td colspan="2"></td></tr></table>												経費	金額	摘要		報酬	180,000円	農業経営基盤強化促進協議会委員報酬	180,000円	旅費	18,870円	農業経営基盤強化促進協議会委員旅費	18,870円	計	198,870円	
経費	金額	摘要																										
報酬	180,000円	農業経営基盤強化促進協議会委員報酬	180,000円																									
旅費	18,870円	農業経営基盤強化促進協議会委員旅費	18,870円																									
計	198,870円																											
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)																				
			国県支出金	0	0	0	0																					
			地方債	0	0	0	0																					
			その他	0	0	0	0																					
			一般財源	235	289	198	289																					
		合計(A)	235	289	198	289																						
		人件費	正規職員	業務量	0.43 人	0.43 人	0.43 人						0.43 人															
				人件費	3,327	3,314	3,314						3,386															
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人						0.00 人															
				人件費	0	0	0						0															
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人						0.00 人															
				人件費	0	0	0						0															
			小計(B)		3,327	3,314	3,314						3,386															
			合計(A+B)		3,562	3,603	3,512						3,675															
	市民1人当たりのコスト(円)		41	42	41	44																						
指標	指標名	指標の説明			単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																		
	認定農業者数	農業経営基盤強化の促進に関する基本的な構想に合致する農業経営体数			人	目標	230	233	236	240																		
						実績	214	217	218																			
	指標化できない成果	—			達成	93%	93%	92%																				
方向	改善	課題	認定農業者の高齢化と後継者不足に加え、農業資材等の高騰により経営費が向上したことで、農業経営基盤強化の促進に関する基本的な構想に合致する農業経営体が減少しています。																									
		改善案	三重県伊賀農林事務所、伊賀ふるさと農協と連携して広報、ホームページ等で制度を周知します。また、農業経営改善計画認定申請書の受付時に経営改善についてフォローします。																									

整理番号		(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)03地域農政推進対策事業							決算書頁															
294 -									251															
基本情報	コード	名称				事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業																
	施策	3-2	農業				H16 年度～ R6 年度	01-06-01-03-03-03																
	基本事業	③	担い手の確保・育成				担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先														
	事務事業名	新規就農者総合支援事業				産業振興部農林振興課		課長 前川 博善 0595-22-9712																
事務事業の概要	対 象	独立・自営就農時の年齢が原則50歳未満の認定新規就農者																						
	目 的	次世代を担う農業者に対して農業経営の安定および発展のための資金を交付して支援する																						
	根拠法令等	新規就農者育成総合対策実要綱、伊賀市農業次世代人材投資事業実施要綱																						
	内 容	次世代を担う農業者に対して就農直後の経営確立に資する資金を交付します。また、経営発展のために必要な機械・施設の導入費用を補助します。農業次世代人材投資資金については交付3年目終了時点で中間評価を行い、農業経営が計画通りに行われているかを審査します。 農業次世代人材投資資金 5名(うち夫婦2名)に4,875,000円を交付。 経営開始資金 3名に3,750,000円を交付。																						
	事業に要した 主な経費 など	<table><tr><th>経費</th><th>金額</th><th>摘要</th></tr><tr><td>報償費 謝礼</td><td>6,629円</td><td>中間評価会 委員謝礼 6,629円</td></tr><tr><td>需用費 消耗品費</td><td>371円</td><td>371円</td></tr><tr><td>負担金、補助及び交付金</td><td>8,625,000円</td><td>農業次世代人材投資資金 4,875,000円 経営開始資金 3,750,000円</td></tr><tr><td>計</td><td>8,632,000円</td><td>8,632,000円</td></tr></table>									経費	金額	摘要	報償費 謝礼	6,629円	中間評価会 委員謝礼 6,629円	需用費 消耗品費	371円	371円	負担金、補助及び交付金	8,625,000円	農業次世代人材投資資金 4,875,000円 経営開始資金 3,750,000円	計	8,632,000円
経費	金額	摘要																						
報償費 謝礼	6,629円	中間評価会 委員謝礼 6,629円																						
需用費 消耗品費	371円	371円																						
負担金、補助及び交付金	8,625,000円	農業次世代人材投資資金 4,875,000円 経営開始資金 3,750,000円																						
計	8,632,000円	8,632,000円																						
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)																
			国県支出金	12,757	10,507	8,632	5,250																	
			地方債	0	0	0	0																	
			その他	0	0	0	0																	
			一般財源	0	0	0	0																	
		合計(A)	12,757	10,507	8,632	5,250																		
		人件費	正規職員	業務量	0.70 人	0.70 人	0.70 人				0.70 人													
				人件費	5,416	5,394	5,394				5,512													
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人				0.00 人													
				人件費	0	0	0				0													
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人				0.00 人													
				人件費	0	0	0				0													
			小計(B)	5,416	5,394	5,394	5,512																	
			合計(A+B)	18,173	15,901	14,026	10,762																	
	市民1人当たりのコスト(円)			208	185	163	127																	
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度														
	農業次世代人材投資資金、経営発展支援事業、経営開始資金の交付者数		農業次世代人材投資資金、経営発展支援事業、経営開始資金を交付した人数		人	目標	6	6	6	6														
						実績	5	8	8															
	指標化できない成果		—		達成	83%	134%	134%																
方向	改善	課題	交付要件が年度ごとに変更なり内容も詳細に及ぶため、要件を満たすことができない新規就農者が多くなっています。																					
		改善案	三重県伊賀農林事務所、伊賀ふるさと農業協同組合と連携して十分に聞き取りを行い、要件を満たすことができるようにフォローします。																					

整理番号		(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)03地域農政推進対策事業						決算書頁																		
295 -								251																		
基本情報	コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業																			
	施策	3-2	農業			H26 年度～ R6 年度	01-06-01-03-03-04																			
	基本事業	②	農業・農村の多面的機能維持向上			担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先																	
	事務事業名	農地集積協力金交付事業			産業振興部農林振興課		課長 前川 博善 0595-22-9713																			
事務事業の概要	対 象	集落、地域、農業者																								
	目 的	地域の中心経営体への農地集積や分散錯圖の解消を目的に、農地中間管理事業を促進する																								
	根拠法令等	農地集積・集約化等対策事業実施要綱																								
	内 容	担い手への農地集積・集約化を加速するため、農地中間管理機構を通じて農地を貸し付けた地域に対し協力金を交付できる事業を推進していますが、令和5年度は要件を満たせることができず、交付には至りませんでした。 【地域集積協力金】 人・農地プランに基づき農地中間管理機構にまとまった農地を貸し付けた場合、集積割合に応じて地域に対し交付する協力金 (令和5年度実績なし 農地中間管理機構への貸付面積:約51.2ha) 【経営転換協力金】 地域計画(令和6年度までは「人・農地プラン」も経過措置)に基づき機構へ自作地を貸し付けた農業者等で、農業部門の減少により経営転換する農業者や、リタイアする農業者などに交付する協力金 (令和5年度実績なし)																								
	事業に要した 主な経費 など	<table><tr><th>経費</th><th>金額</th><th>摘要</th></tr><tr><td>旅費</td><td>54,712円</td><td>旅費</td></tr><tr><td>消耗品費</td><td>391,462円</td><td>PPC用紙</td></tr><tr><td></td><td></td><td>その他事務用品(ファイル、ペン等) 292,957円</td></tr><tr><td>使用料及び賃借料</td><td>46,200円</td><td>機械器具借上料 46,200円</td></tr><tr><td>計</td><td>492,374円</td><td></td></tr></table>								経費	金額	摘要	旅費	54,712円	旅費	消耗品費	391,462円	PPC用紙			その他事務用品(ファイル、ペン等) 292,957円	使用料及び賃借料	46,200円	機械器具借上料 46,200円	計	492,374円
経費	金額	摘要																								
旅費	54,712円	旅費																								
消耗品費	391,462円	PPC用紙																								
		その他事務用品(ファイル、ペン等) 292,957円																								
使用料及び賃借料	46,200円	機械器具借上料 46,200円																								
計	492,374円																									
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)																		
			国県支出金	2,996	10,400	0	4,700																			
			地方債	0	0	0	0																			
			その他	573	755	438	304																			
			一般財源	0	0	55	0																			
		合計(A)	3,569	11,155	493	5,004																				
		人件費	正規職員	業務量	0.37 人	0.37 人	0.37 人		0.37 人																	
				人件費	2,863	2,851	2,851		2,914																	
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.37 人																	
				人件費	0	0	0		1,338																	
			会計年度任用職員	業務量	1.00 人	1.00 人	1.00 人		1.00 人																	
				人件費	1,617	1,679	1,679		1,776																	
			小計(B)	4,480	4,530	4,530	6,028																			
			合計(A+B)	8,049	15,685	5,023	11,032																			
	市民1人当たりのコスト(円)	92	182	59	130																					
指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																		
	機構活用面積	農地中間管理機構を活用している合計面積	ha	目標	750	760	770	780																		
				実績	754	780	821																			
	指標化できない成果	—	達成	101%	102%	107%																				
方向	改善	課題	農地中間管理事業の活用は順調に増加しているものの、機構集積協力金の交付に関する国・県の要件が平成26年度当初と比較して、年々厳しくなっています。 令和6年度から、さらに厳しくなったこともあり、事業を活用できる地域が減少することが懸念されます。																							
		改善案	少しでも活用ができるよう、関係機関と連携しながら啓発をおこなう。																							

整理番号 296 - (会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)04農業経営基盤強化資金等利子助成事業		決算書頁 251													
基本情報	コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業									
	施策	3-2	農業		H16 年度～ R6 年度	01-06-01-03-04-01									
	基本事業	①	農畜産物の生産振興		担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先								
	事務事業名	農業経営基盤強化資金等利子助成事業		産業振興部農林振興課		課長 前川 博善 0595-22-9712									
事務事業の概要	対 象	認定農業者													
	目 的	認定農業者の経営規模の拡大及び経営の効率化を図る													
	根拠法令等	伊賀市農業経営基盤強化資金利子補給金交付要綱、伊賀市産業振興部関係補助金等交付要綱													
	内 容	認定農業者が借り入れた農業制度資金に関し、その利子を助成しました。 農業経営基盤強化資金利子助成 3件 96,145円 農業経営近代化資金利子助成 99件 821,606円													
	事業に要した 主な経費 など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>917,751円</td> <td> 農業経営基盤強化資金利子助成金 96,145円 中核農業者育成資金利子助成金 821,606円 </td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>917,751円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						経費	金額	摘要	負担金、補助及び交付金	917,751円	農業経営基盤強化資金利子助成金 96,145円 中核農業者育成資金利子助成金 821,606円	計	917,751円
経費	金額	摘要													
負担金、補助及び交付金	917,751円	農業経営基盤強化資金利子助成金 96,145円 中核農業者育成資金利子助成金 821,606円													
計	917,751円														
全体コスト(千円)	直接 事業費	項目	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)								
		国県支出金	72	95	48	58									
		地方債	0	0	0	0									
		その他	0	0	0	0									
		一般財源	811	941	869	853									
	合計(A)	883	1,036	917	911										
	事業費	人件費	正規職員	業務量 0.08 人	0.08 人	0.08 人		0.00 人							
			人件費	619	617	617		0							
			再任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人							
			人件費	0	0	0		0							
			会計年度任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人							
		人件費	0	0	0	0									
小計(B)	619	617	617	0											
合計(A+B)	1,502	1,653	1,534	911											
市民1人当たりのコスト(円)	18	20	18	11											
指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度							
	対象者適用比率	申請者に対して利子補給した割合	%	目標	100	100	100	100							
				実績	100	100	100								
	指標化できない成果	—	達成	100%	100%	100%									
方向	改善	課題	融資機関からの必要書類の提出について、市が指定する提出期限を過ぎることが多く、利子補給金の支払い時期が遅くなります。												
		改善案	融資機関に対し、必要書類の作成依頼を現在より早期に実施するとともに、提出期限の厳守を促します。												

整理番号		(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)05鳥獣害防止事業						決算書頁	
297 -								251	

基本情報	コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業		
	施策	3-2	農業	H16	年度～	R6	年度	01-06-01-03-05-01
	基本事業	③	担い手の確保・育成	担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先	
	事務事業名	鳥獣害防止事業			産業振興部農林振興課		課長 前川 博善 0595-22-9714	

事務事業の概要	対 象	鳥獣害被害を被る農山村住民										
	目 的	有害鳥獣の侵入を防ぎ被害の防除、軽減による農業経営の安定化、住環境の向上を図る										
	根拠法令等	伊賀市鳥獣害に負けない地域づくり推進事業実施要領、伊賀市獣害防止施設設置事業補助金交付要綱										
	内 容	●伊賀市鳥獣害対策協議会を介して、伊賀市鳥獣害に負けない地域づくり推進(ソフト・ハード)事業に要する経費の一部を負担しました。 ○伊賀市鳥獣害に負けない地域づくり推進(ソフト)事業 22自治協 合計3,594,903円 ・自治協で管理する捕獲檻、わなの購入:2,287,653円 ・追い払い資材:1,159,219円 ・防止体制の整備:149,340円 ・狩猟免許取得6名への免許取得経費・調査体制の使用機器:72,800円 ・普及啓発活動:7,491円 ○伊賀市鳥獣害に負けない地域づくり推進(ハード)事業 5自治協(32地区) 合計4,213,876円 事業費4,795,375円 (うち、地域からの地元負担金568,123円) ●伊賀市鳥獣害対策協議会から(一社)獣害対策先進技術管理組合に作業委託し、伊賀市内のサルの頭数調査を実施しました。 ○ニホンザル頭数調査費:375,024円 ○事務費:126,380円										
事業に要した 主な経費 など	<table border="1"> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> <tr> <td>伊賀市鳥獣害対策協議会事業負担金</td> <td>8,283,421円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>8,283,421円</td> <td></td> </tr> </table>			経費	金額	摘要	伊賀市鳥獣害対策協議会事業負担金	8,283,421円		計	8,283,421円	
	経費	金額	摘要									
	伊賀市鳥獣害対策協議会事業負担金	8,283,421円										
計	8,283,421円											

全体コスト(千円)	直接 事業費	項目		R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		国県支出金		0	0	0	0	
		地方債		0	0	0	0	
		その他		0	0	0	0	
		一般財源		7,371	8,322	8,283	8,558	
	合計(A)		7,371	8,322	8,283	8,558		
	事業費	正規職員	業務量	1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人	
			人件費	7,737	7,705	7,705	7,874	
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	
		小計(B)		7,737	7,705	7,705	7,874	
	合計(A+B)		15,108	16,027	15,988	16,432		
市民1人当たりのコスト(円)		173	186	186	193			

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	侵入防止柵の修繕を実施する地区数	侵入防止柵の耐用年数を把握し、更新・修繕が必要な地区のハード事業申請数	%	目標	24	25	19	26
				実績	24	30	32	
	指標化できない成果	—		達成	100%	120%	168%	

方向	改善	課題	平成21年度から26年度の間に設置された侵入防止柵は、資材の耐用年数がメーカー指定で14年間とされており、平成21年度設置の侵入防止柵は耐用年数を超過しております。今後は脆弱性が増す可能性があるため、順次新しい資材に更新していく必要があります。
		改善案	ハード事業による補修事業(市費)を従来どおり行いつつ、補修をしているにもかかわらず鳥獣被害が発生している地区の侵入防止柵を、山間部から農地周辺への設置場所変更も合わせて、更新の申請を該当地区住民自治協議会に啓発します。また、国費の1mあたりの上限額(2,415円/m)で設置できる資材の導入を検討します。

整理番号		(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)06伊賀米等生産振興対策事業							決算書頁	
298 -									251	
基本情報	コード	名称			事業期間			会計-款-項-目-大事業-中事業		
	施策	3-2	農業			H16 年度～ R6 年度	01-06-01-03-06-01			
	基本事業	①	農畜産物の生産振興			担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先	
	事務事業名	伊賀米生産振興経費			産業振興部農林振興課		課長 前川 博善 0595-22-9713			
事務事業の概要	対 象	伊賀米生産農業者、関係事業者及び地域の消費者、経営所得安定対策対象農業者								
	目 的	伊賀米の生産基盤保持や安全安心な体制構築、経営所得安定対策等や伊賀米普及事業を推進する								
	根拠法令等	経営所得安定対策等推進事業実施要綱、伊賀米振興協議会規約								
	内 容	稲作栽培の技術向上及び米の品質向上を図り、「伊賀米」ブランドの普及、販売拡大に努めました。 また、国の対策である経営所得安定対策の実施に必要な推進活動及び事務を実施しました。 伊賀市農業再生協議会業務委託料 委託先:伊賀市農業再生協議会 主な業務:経営所得安定対策の推進及び関係事務、営農計画書の配布件数は約7,000件。交付申請件数約500件。 伊賀米振興協議会負担金 伊賀米振興協議会に参画し、伊賀米のPRの方法や食味の向上について検討をしました。 麦大豆生産性向上事業補助金 市内の申請者1団体に対して機械導入費、及び小麦・大豆の耕作における新技術の導入に関する、補助金の交付を行いました。 被害小麦臨時処分事業補助金 市内の小麦被害者に対して被害小麦の処分費・輸送費に関する、補助金の交付を行いました。								
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要				
	委託料		9,769,000円		伊賀市農業再生協議会業務委託料 9,769,000円					
	需用費		22,000円		消耗品 22,000円					
	負担金、補助及び交付金		8,736,166円		伊賀米振興協議会負担金 2,489,000円 米・麦・大豆生産総合対策事業費補助金 752,000円 被害小麦臨時処分事業補助金 5,495,166円					
	計		18,527,166円							
全体コスト(千円)	直接 事業費	項目		R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)		
		国県支出金		29,783	12,535	16,038	11,823			
		地方債		0	0	0	0			
		その他		0	0	0	0			
		一般財源		2,485	2,489	2,489	2,489			
		合計(A)		32,268	15,024	18,527	14,312			
	事業費 人件費	正規職員	業務量	1.69 人	1.69 人	1.69 人	1.69 人	米・麦・大豆生産総合対策事業費補助金 752,000円 被害小麦臨時処分事業補助金 5,495,166円		
			人件費	13,076	13,022	13,022	13,308			
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人			
			人件費	0	0	0	0			
		会計年度任用職員	業務量	1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人			
			人件費	1,617	1,679	1,679	1,776			
		小計(B)		14,693	14,701	14,701	15,084			
		合計(A+B)		46,961	29,725	33,228	29,396			
	市民1人当たりのコスト(円)		536	344	385	345				
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	伊賀米の一等比率		農産物検査における一等米の比率		%	目標	70%	70%	70%	70%
						実績	74%	70.8%	65.3%	
	指標化できない成果		—		達成	105.7%	100%	93.2%		
方向	改善	課題	伊賀米の一等米比率は、天候に左右されやすいため安定した品質の確保が課題となっており、伊賀米の安定した出荷量が確保できるよう協議会の運営を行う必要があります。 なお、5年産米の一等米比率は県下で最も高い比率となっています。							
		改善案	伊賀米のさらなる品質向上と安定化に向け、伊賀米振興協議会構成員の伊賀ふるさと農協や三重県普及センター等と連携し米品質の改善に取り組みます。 振興協議会の運営について、市の意見や要望等が反映されるよう努めます。							

整理番号 299 - (会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)07中山間地域等直接支払交付金事業		決算書頁 251																			
基本情報	コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業															
	施策	3-2	農業		H16 年度～ R6 年度	01-06-01-03-07-01															
	基本事業	②	農業・農村の多面的機能維持向上		担当部署	部・課名等	評価責任者・連絡先														
	事務事業名	中山間地域等直接支払交付金事業			産業振興部農林振興課	課長 前川 博善 0595-22-9713															
事務事業の概要	対 象	集落協定締結集落及び集落協定参加者																			
	目 的	農業生産条件の不利な中山間地域等において集落等を単位に農用地を維持・管理し、農地の有する多面的機能を発揮する取組を行う																			
	根拠法令等	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律、産業振興部関係補助金等交付要綱																			
	内 容	中山間地域等直接支払交付金第5期対策の集落協定作成の指導を行いました。 集落協定締結集落に対して、中山間地域等直接支払交付金を交付しました。 また、新規取組集落の相談を実施し事業を推進しました。 交付金額(体制整備単価) 水田急傾斜:21,000円/10a、水田緩傾斜:8,000円/10a、畑急傾斜:11,500円/10a、畑緩傾斜3,500円/10a 集落協定地区 65集落(令和2年度実績)、70集落(令和3年度実績)、72集落(令和4年度実績)、72集落(令和5年度実績) 取組面積 948ha 交付金合計 127,447,755円																			
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>127,447,755円</td> <td>中山間地域等直接支払交付金</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>53,520円</td> <td>雨具、ファイル他</td> </tr> <tr> <td>電算機借上料</td> <td>480,480円</td> <td>中山間地域等直接支払制度支援システム</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>127,981,755円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						経費	金額	摘要	負担金、補助及び交付金	127,447,755円	中山間地域等直接支払交付金	消耗品費	53,520円	雨具、ファイル他	電算機借上料	480,480円	中山間地域等直接支払制度支援システム	計	127,981,755円
経費	金額	摘要																			
負担金、補助及び交付金	127,447,755円	中山間地域等直接支払交付金																			
消耗品費	53,520円	雨具、ファイル他																			
電算機借上料	480,480円	中山間地域等直接支払制度支援システム																			
計	127,981,755円																				
全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)										
		国県支出金	91,626		93,597		92,700		93,732												
		地方債	0		0		0		0												
		その他	0		0		0		0												
		一般財源	35,067		35,715		35,281		35,760												
	事業費	人件費	合計(A)	126,693		129,312		127,981		129,492											
			正規職員	業務量	1.68 人	1.68 人	1.68 人	1.68 人													
		再任用職員	人件費	12,999	12,945	12,945	13,229														
			業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人														
			会計年度任用職員	人件費	0	0	0	0													
				業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人													
		小計(B)	12,999	12,945	12,945	13,229															
	合計(A+B)	139,692	142,257	140,926	142,721																
市民1人当たりのコスト(円)	1,592	1,647	1,631	1,673																	
指標	指標名	指標の説明		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度													
	集落協定の活動ができる組織	集落協定内容を遵守し活動ができる組織の数	件	目標	70	72	72	72													
				実績	70	72	72														
	指標化できない成果	—		達成	100%	100%	100%														
方向	改善	令和2年度から令和6年度までの第5期対策において、70集落協定が作成されました。令和4年度に新たに2集落が作成されましたが、高齢化や後継者不足により協定の活動を維持することは容易ではありません。また、現地確認についてかなりの時間を要しています。																			
	改善案	集落内の話し合い等により活動を継続できるよう支援を行います。現地確認や実績報告ヒアリング時に集落協定代表者から現状と課題の聞き取りをし、先進的な取り組みを行う集落の事例を紹介したり、集落代表者の事務負担が軽減されるような提案を行います。現地確認について省力化できるよう検討します。																			

整理番号		(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)08農業公園管理経費						決算書頁															
300 -								251															
基本情報	コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業																
	施策	3-2	農業			H16 年度～ R6 年度	01-06-01-03-08-01																
	基本事業	①	農畜産物の生産振興			担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先														
	事務事業名	農業公園管理経費			産業振興部農林振興課		課長 前川 博善 0595-22-9712																
事務事業の概要	対 象	市民ふれあい農園利用者及び伊賀市農業公園利用者																					
	目 的	市民ふれあい農園の利用者を増加させ、農業振興施策に繋げる																					
	根拠法令等	伊賀市農業公園の設置及び管理に関する条例、伊賀市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例																					
	内 容	市民の憩い・交流・農業体験を促進し、市民のふれあい及び健康づくり、地域の活性化を図る取り組みを進めています。 【市民ふれあい農園契約区画数】108区画(総区画数:246区画) 【実施したイベント】 秋の収穫祭(どろんこ芋掘り) … 参加者172人 保育園芋ほり体験 …………… 参加者182人 ブルーベリー収穫体験 …………… 参加者155人(延べ人数)																					
	事業に要した 主な経費 など	<table><tr><th>経費</th><th>金額</th><th>摘要</th></tr><tr><td>委託料</td><td>5,507,000円</td><td>農業公園指定管理料 5,400,000円 指定管理者:明日が楽しみな里づくり委員会 設備保守点検 消防設備等保守点検業務委託料 77,000円 植栽管理 樹木剪定伐採等委託料 30,000円</td></tr><tr><td>使用料及び賃借料</td><td>713,965円</td><td>土地建物借上料 713,965円</td></tr><tr><td>負担金、補助及び交付金</td><td>26,769円</td><td>青蓮寺用水土地改良区 経常賦課金 26,769円</td></tr><tr><td>計</td><td>6,247,734円</td><td></td></tr></table>								経費	金額	摘要	委託料	5,507,000円	農業公園指定管理料 5,400,000円 指定管理者:明日が楽しみな里づくり委員会 設備保守点検 消防設備等保守点検業務委託料 77,000円 植栽管理 樹木剪定伐採等委託料 30,000円	使用料及び賃借料	713,965円	土地建物借上料 713,965円	負担金、補助及び交付金	26,769円	青蓮寺用水土地改良区 経常賦課金 26,769円	計	6,247,734円
経費	金額	摘要																					
委託料	5,507,000円	農業公園指定管理料 5,400,000円 指定管理者:明日が楽しみな里づくり委員会 設備保守点検 消防設備等保守点検業務委託料 77,000円 植栽管理 樹木剪定伐採等委託料 30,000円																					
使用料及び賃借料	713,965円	土地建物借上料 713,965円																					
負担金、補助及び交付金	26,769円	青蓮寺用水土地改良区 経常賦課金 26,769円																					
計	6,247,734円																						
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)															
			国県支出金	0	0	0	0																
			地方債	0	0	0	0																
			その他	32	32	34	32																
			一般財源	6,033	6,244	6,214	6,244																
		合計(A)	6,065	6,276	6,248	6,276																	
		人件費	正規職員	業務量	0.05 人	0.05 人	0.05 人		0.05 人														
				人件費	387	386	386		394														
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人														
				人件費	0	0	0		0														
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人														
				人件費	0	0	0		0														
			小計(B)	387	386	386	394																
	合計(A+B)	6,452	6,662	6,634	6,670																		
市民1人当たりのコスト(円)	74	78	77	79																			
指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度															
	市民ふれあい農園利用 区画数	市民ふれあい農園の貸付利 用区画数	区画	目標	120	130	140	150															
				実績	99	115	108																
	指標化できない成果	—			達成	82.5%	88.4%	77.1%															
方向	改善	課題 契約区画数が全体の43.9%と半数を割り込んでおり、対目標比は77.1%と高い水準であるものの、今後も農園区画契約を増やしていく必要があります。 特に認知度を高める広報活動に注力していく必要があり、インターネットのHPやSNSを活用していきます。																					
	改善案	公式ホームページは作成されていますが、更新を行う人出が足りないために作成当時のままとなっているページが多々あり、停滞しています。InstagramやFacebookなど、更新が容易にできるSNSを活用した情報発信の方法を検討し、試験的に実施していきます。 併せて、広告、広報、ケーブルテレビ等のメディアを活用していくなど、多角的な情報発信を指定管理者と連携し進めていきます。																					

整理番号		(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)09農村環境改善センター維持管理経費						決算書頁																					
301 -								251																					
基本情報	コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業																						
	施策	7-2	財政運営			H16 年度～ R6 年度	01-06-01-03-09-01																						
	基本事業	②	公有財産の有効活用			担当部署	部・課名等		評価責任者・連絡先																				
	事務事業名	農村環境改善センター維持管理経費			産業振興部農林振興課		課長 前川 博善 0595-22-9713																						
事務事業の概要	対 象	農村環境改善センターの利用者																											
	目 的	改善センターの維持管理業務を行い、市民各種団体による各種会議・各種講座に利用できる。																											
	根拠法令等	大山田農村環境改善センターの設置及び管理に関する条例・大山田農村環境改善センター管理規則																											
	内 容	施設の維持管理を行いました。 特定建築物維持管理業務委託料……2年毎に実施する必要がある法定調査 電気設備改修工事費……消防設備点検の指摘箇所の修繕 ・ホールは吊天井のため使用不可としています。 ・和室天井裏の空調配管から結露が発生しているため、和室(小)を使用不可としています。 ・自動ドアが故障により作動不可となっており、手動で開閉しています。																											
	事業に要した 主な経費 など	<table><tr><th>経費</th><th>金額</th><th>摘要</th></tr><tr><td>需用費</td><td>589,424円</td><td>消耗品費、燃料費、光熱水費 448,624円 修繕費 140,800円</td></tr><tr><td>役務費</td><td>99,000円</td><td>手数料 99,000円</td></tr><tr><td>委託料</td><td>2,057,411円</td><td>特定建築物維持管理業務委託料 407,000円 空調設備保守点検(名阪設備) 1,265,000円 清掃(いわの美装) 清掃(ビルドコーポレーション) 55,000円</td></tr><tr><td>使用料及び賃借料</td><td>693,960円</td><td>土地建物借上料・機械器具借上料 693,960円</td></tr><tr><td>工事請負費</td><td>1,177,000円</td><td>電気設備改修工事費 1,177,000円</td></tr><tr><td>計</td><td>4,616,795円</td><td></td></tr></table>								経費	金額	摘要	需用費	589,424円	消耗品費、燃料費、光熱水費 448,624円 修繕費 140,800円	役務費	99,000円	手数料 99,000円	委託料	2,057,411円	特定建築物維持管理業務委託料 407,000円 空調設備保守点検(名阪設備) 1,265,000円 清掃(いわの美装) 清掃(ビルドコーポレーション) 55,000円	使用料及び賃借料	693,960円	土地建物借上料・機械器具借上料 693,960円	工事請負費	1,177,000円	電気設備改修工事費 1,177,000円	計	4,616,795円
経費	金額	摘要																											
需用費	589,424円	消耗品費、燃料費、光熱水費 448,624円 修繕費 140,800円																											
役務費	99,000円	手数料 99,000円																											
委託料	2,057,411円	特定建築物維持管理業務委託料 407,000円 空調設備保守点検(名阪設備) 1,265,000円 清掃(いわの美装) 清掃(ビルドコーポレーション) 55,000円																											
使用料及び賃借料	693,960円	土地建物借上料・機械器具借上料 693,960円																											
工事請負費	1,177,000円	電気設備改修工事費 1,177,000円																											
計	4,616,795円																												
全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)																					
			国県支出金	0	0	0	0																						
			地方債	0	0	0	0																						
			その他	100	150	36	150																						
			一般財源	4,468	6,126	4,581	3,962																						
		合計(A)	4,568	6,276	4,617	4,112																							
		人件費	正規職員	業務量	0.16 人	0.16 人	0.16 人		0.16 人																				
				人件費	1,238	1,233	1,233		1,260																				
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人																				
				人件費	0	0	0		0																				
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人																				
				人件費	0	0	0		0																				
			小計(B)	1,238	1,233	1,233	1,260																						
			合計(A+B)	5,806	7,509	5,850	5,372																						
	市民1人当たりのコスト(円)	67	87	68	63																								
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																			
	利用者数		大山田農村環境改善センターの利用者数		人	目標	10,000	5,000	5,000	5,000																			
						実績	3,030	2,626	3,469																				
	指標化できない成果		—		達成	30.3%	52.5%	69.3%																					
方向	縮小	課題	施設や設備の老朽化により、多くの箇所で修繕を要する状況が依然として続いています。 緊急度や優先度を勘案し修繕を実施していますが、未着手の箇所が残っている状況です。 吊天井のホールや天井からの漏水(結露)がある和室の一部を使用禁止としています。コロナ禍の落ち着きから、利用者数は令和3年度の水準に回復していますが、目標には届いていません。 当該施設を含めた周辺施設の複合化について、現在庁内で検討が進められています。																										
	改善案	施設修繕については、今後も緊急性や優先度の高いものから実施していきます。 施設の一部を使用禁止としているため、令和4年度の水準を維持していくことが目標となっており、引き続き、施設利用の周知など利用者増につながる取り組みを進めていきます。 また、改善センターの今後の運営についても検討していきます。																											

整理番号 302 -		(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)10地域バイオマス利活用推進事業						決算書頁 253					
基本情報	コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業							
	施策	3-2	農業	H16 年度～ R6 年度		01-06-01-03-10-01							
	基本事業	①	農畜産物の生産振興	担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先						
	事務事業名	循環型農業実現モデル推進事業			産業振興部農林振興課		課長 前川 博善 0595-22-9713						
事務事業の概要	対 象	菜の花プロジェクトに取り組む市民・団体(菜の花プロジェクト推進協議会を含む)、農村景観、地域経済											
	目 的	菜の花プロジェクトを推進し、遊休農地での菜の花栽培や特産品販売拡大を通じて地域活性化を図る											
	根拠法令等	伊賀市バイオマスタウン構想、伊賀市菜の花プロジェクト推進協議会規約											
	内 容	遊休農地を利用して菜の花等資源作物を栽培することで、農村地域の景観形成を図りながら循環型農業を目指す「菜の花プロジェクト」を推進しました。 また、菜の花プロジェクト推進協議会を通じて、菜の花を核とした活動により農村地域だけに限らず市街地も含めた地域活性化を図りました。 循環型農業を通じ、地域の活性化及び遊休農地の解消等の解決を図りました。 令和5年度の種子配布の人数は、56人です。											
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要							
	需用費		627,000円		消耗品費								
	委託料		697,328円		菜種種子購入費等								
					事業推進委託料								
					伊賀市菜の花プロジェクト推進業務委託料 697,328円								
	計		1,324,328円										
全体コスト(千円)	直接 事業費	項目		R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		国県支出金		0		0		0		0			
		地方債		0		0		0		0			
		その他		1,397		698		697		828			
		一般財源		0		665		627		945			
	事業費	合計(A)		1,397		1,363		1,324		1,773			
		正規職員	業務量	0.27	人	0.27	人	0.27	人	0.27	人		
			人件費	2,089		2,081		2,081		2,126			
			再任用職員	業務量	0.00	人	0.00	人	0.00	人	0.00		人
				人件費	0		0		0		0		
			会計年度任用職員	業務量	0.00	人	0.00	人	0.00	人	0.00		人
		人件費		0		0		0		0			
	小計(B)		2,089		2,081		2,081		2,126				
	合計(A+B)		3,486		3,444		3,405		3,899				
市民1人当たりのコスト(円)		40		40		40		46					
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
	菜種の生産数量		市内で収穫・出荷された菜種の数量		kg	目標	21000	22000	23000	24000			
						実績	14019	38629	8108				
	指標化できない成果		—		達成	66.7%	175.5%	35.2%					
方向	改善	課題	水田及び畑を活用した搾油用菜種の栽培であるが、天候による発芽不良や連作障害、排水対策が不十分であること等が原因で収量が安定しないことが課題です。										
		改善案	収量向上のため、菜の花プロジェクトを通じ、栽培者へ栽培資料の送付を行い、排水対策の重要性などを伝えるほか、栽培指導員からの助言を行う機会など行っています。また、新規栽培を検討する農家や組織に向けた栽培指導の機会や栽培資料の送付を行います。										

整理番号		(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)11特産農産物等振興事業						決算書頁	
303 -								253	

基本情報	コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	3-2	農業	H16 年度～	R6 年度	01-06-01-03-11-01	
	基本事業	①	農畜産物の生産振興	担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	特産農産物等振興事業			産業振興部農林振興課		課長 前川 博善 0595-22-9712

事務事業の概要	対 象	特定の農産物を栽培する生産組織及び生産者。近隣及び大都市圏の消費者										
	目 的	伊賀の特産食材の流通量の増加、生産意欲の向上、生産拡大を図る										
	根拠法令等	伊賀市特産農産物等生産振興支援事業補助金交付要綱、食育基本法、伊賀市食育推進計画策定会議設置要綱										
	内 容	特産農産物(搾油用菜種、アスパラガス)の生産、流通の構造改革を推進し、農産物の高付加価値化と栽培農家の経営向上を図りました。 (菜種) 17件、7,517kgの搾油用菜種について交付金を交付しました。 (アスパラガス) 3,520 本分のアスパラの株について交付金を交付しました。 多様な伊賀産食材を使用し、市内小中学校にて月2回(夏休み期間を除く)程度「いがスマイル給食」として提供することによって、地産地消の推進と地元食材に関する知識を深めるきっかけをつくり、将来こどもたちに伊賀市の食材を積極的に選んでもらえるよう食育の推進を行いました。また、スマイル給食の献立について、伊賀市ホームページにてレシピを公開し、家庭でも伊賀産食材の味を楽しめるようにするとともに、地産地消に関して話し合いをもてる契機をつくりました。 8施設 延べ152回										
事業に要した 主な経費 など	<table border="1"> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び補助金 需用費 賄材料費</td> <td>481,450円 21,030,601円</td> <td>特産農産物等生産振興支援事業助成金 いがスマイル給食材料費</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>21,512,051円</td> <td></td> </tr> </table>		経費	金額	摘要	負担金、補助及び補助金 需用費 賄材料費	481,450円 21,030,601円	特産農産物等生産振興支援事業助成金 いがスマイル給食材料費	計	21,512,051円		
	経費	金額	摘要									
	負担金、補助及び補助金 需用費 賄材料費	481,450円 21,030,601円	特産農産物等生産振興支援事業助成金 いがスマイル給食材料費									
計	21,512,051円											

全体コスト(千円)	直接 事業費	項目	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)		
		国県支出金	0	0	0	0			
		地方債	0	0	0	0			
		その他	22,236	22,679	21,512	23,155			
		一般財源	70	60	0	383			
	事業費	合計(A)	22,306	22,739	21,512	23,538			
		正規職員	業務量	0.75 人	0.75 人	0.75 人	0.75 人		
			人件費	5,803	5,779	5,779	5,906		
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
				人件費	0	0	0	0	
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	人件費	0		0	0	0			
小計(B)	5,803	5,779	5,779	5,906					
合計(A+B)	28,109	28,518	27,291	29,444					
市民1人当たりのコスト(円)	321	331	316	346					

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	いがスマイル給食の品目数	いがスマイル給食の品目数	個	目標	30	30	30	51
				実績	31	31	51	
指標化できない成果	—			達成	103%	103%	170%	

方向	改善	課題	スマイル給食のメニューについて、伊賀牛が中心になり果樹等の利用が限定的になりがちです。
	改善案	取り組み	取り扱い食材の範囲を拡大することで、メニューの増加を検討し、利用が少なかった地元産野菜・果樹等も積極的に利用します。

整理番号		(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)12有害鳥獣駆除事業						決算書頁		
304 -								253		
基本情報	コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業			
	施策	3-2 農業			H16 年度～ R6 年度		01-06-01-03-12-01			
	基本事業	③ 担い手の確保・育成			担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先		
	事務事業名	有害鳥獣駆除事業				産業振興部農林振興課		課長 前川 博善 0595-22-9714		
事務事業の概要	対 象	被害農家等、地元の猟友会及び会員								
	目 的	有害鳥獣個体数の減少による生息数の適正化及び農作物・畑作物被害の削減を図る								
	根拠法令等	鳥獣保護法、伊賀市鳥獣被害防止計画、伊賀市アライグマ・ヌートリア防除実施計画								
	内 容	●鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業：住民自治協議会からの依頼を受け、有害鳥獣捕獲許可期間(R5年4月1日～6年3月15日)に獣害駆除及び捕獲を行う申請者に対し許可を下ろし、伊賀市猟友会を介して報償費を支出しました。 ○報償費 支払件数:120名 23,502,000円 ・シカ2,296頭(@9,000円)20,664,000円・イノシシ312頭(@9,000円)2,808,000円・サル1頭(@30,000円)30,000円 ●有害鳥獣駆除奨励事業：伊賀市猟友会を介し、有害鳥獣捕獲に係る出役手当、幼獣捕獲報償金、安全対策経費を支出しました。 ○委託料 支払件数:200名 6,945,304円 ・有害鳥獣捕獲出役料:5,395,304円(出役日数3,508日 ・安全対策費1,194,000円(1名 6,000円) ・幼獣捕獲報償金356,000円(イノシシ80頭・シカ98頭(@2,000円) ●特定外来種駆除業務：アライグマ、ヌートリアによる被害を受ける市民に対して防除実施計画に基づく捕獲従事者登録を行って捕獲檻を貸与し、捕獲獣の殺処分を行いました。 ・特定外来種駆除委託料:921,500円(令和5年度処分回数97回・処分頭数465頭)※1回につき9,500円 委託先:伊賀市猟友会								
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要				
報償費		23,502,000円		鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業						
有害鳥獣駆除奨励事業		6,945,304円		有害鳥獣駆除奨励委託料						
特定外来種駆除業務		864,500円		特定外来種駆除委託料						
計		31,311,804円								
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)		
			国県支出金	19,588	17,564	18,264	17,740			
			地方債	0	0	0	0			
			その他	0	0	0	0			
			一般財源	14,439	13,086	13,048	13,721			
		合計(A)		34,027	30,650	31,312	31,461			
		人件費	正規職員	業務量	1.01 人	1.01 人	1.00 人		0.00 人	
				人件費	7,815	7,783	7,705		0	
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人	
				人件費	0	0	0		0	
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人	
				人件費	0	0	0		0	
			小計(B)		7,815	7,783	7,705		0	
			合計(A+B)		41,842	38,433	39,017		31,461	
	市民1人当たりのコスト(円)		477	445	452	369				
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	捕獲頭数		有害鳥獣を捕獲し、個体数を調整します。 (イノシシ・シカ・サル)		頭	目標	2780	2343	2006	2708
						実績	2783	2897	2609	
	指標化できない成果		—		達成	100.1%	123.6%	130.0		
方向	充実	課題	令和5年度の伊賀市猟友会会員数は令和4年度より4名の減少となりました。鳥獣害の抑止対策として有害駆除・捕獲は重要であり、当該事業の継続のためにも狩猟免許取得者の確保・増員は喫緊の課題です。また会員の中には有害鳥獣捕獲実績や捕獲等事業への参加実績が無い人も一定数おり、当該会員の事業への参画及び捕獲技術の向上へ向けた取組も必要です。							
		改善案	狩猟免許の有効期間は3年間なので、過去3年間に有害鳥獣捕獲実績が無い会員を対象にした技術向上のための研修会を開催すべく、伊賀市猟友会理事会と協議を行います。また、安全対策経費について、現在1名につき6,000円支給しているものを、今後は捕獲実績のある会員を対象とすべく協議を開始します。							

整理番号		(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)13環境保全型農業直接支							決算書頁																		
305 -		援対策事業							253																		
基本情報		コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業																			
	施策	3-2	農業			H16 年度～ R6 年度		01-06-01-03-13-01																			
	基本事業	①	農畜産物の生産振興			担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先																		
	事務事業名	環境保全型農業直接支援対策事業			産業振興部農林振興課		課長 前川 博善 0595-22-9713																				
事務事業の概要	対 象	環境保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者																									
	目 的	地球温暖化防止や生物多様性保全等に貢献し、農業が有する自然循環機能を維持・増進する																									
	根拠法令等	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律、産業振興部関係補助金等交付要綱																									
	内 容	環境保全に高い効果がある営農活動に取り組む農業者(団体)に対し、交付金を交付することで当該の活動を支援しました。 【交付単価】 ①有機農業の取組 … 10aあたり12,000円 ②県特認の取組 …… 10aあたり8,000円 【交付実績】 有機農業 …………… 9件1,058a カバークロップの取組 …………… 1件36a 県特認(梨の減農薬栽培)の取組 … 20件1,102a																									
	事業に要した 主な経費 など	<table><tr><th>経費</th><th>金額</th><th>摘要</th></tr><tr><td>報償費</td><td>20,000円</td><td></td></tr><tr><td>旅費</td><td>667,371円</td><td></td></tr><tr><td>需用費</td><td>118,188円</td><td>消耗品費 118,188円</td></tr><tr><td>負担金、補助及び交付金</td><td>2,134,400円</td><td>環境保全型農業直接支払交付金 2,134,400円</td></tr><tr><td>計</td><td>2,939,959円</td><td></td></tr></table>									経費	金額	摘要	報償費	20,000円		旅費	667,371円		需用費	118,188円	消耗品費 118,188円	負担金、補助及び交付金	2,134,400円	環境保全型農業直接支払交付金 2,134,400円	計	2,939,959円
経費	金額	摘要																									
報償費	20,000円																										
旅費	667,371円																										
需用費	118,188円	消耗品費 118,188円																									
負担金、補助及び交付金	2,134,400円	環境保全型農業直接支払交付金 2,134,400円																									
計	2,939,959円																										
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)																			
			国県支出金	1,450	2,775	1,693	1,676																				
			地方債	0	0	0	0																				
			その他	0	200	200	0																				
			一般財源	453	561	1,047	528																				
		合計(A)	1,903	3,536	2,940	2,204																					
		人件費	正規職員	業務量	0.40 人	0.40 人	0.40 人				0.40 人																
				人件費	3,095	3,082	3,082				3,150																
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人				0.00 人																
				人件費	0	0	0				0																
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人				0.00 人																
				人件費	0	0	0				0																
			小計(B)	3,095	3,082	3,082	3,150																				
			合計(A+B)	4,998	6,618	6,022	5,354																				
市民1人当たりのコスト(円)			57	77	70	63																					
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																	
	取組面積		環境保全型農業に取り組む 実施面積		ha	目標	24	26	28	30																	
						実績	21.5	19.0	21.6																		
	指標化できない成果		—		達成	89.5%	73.0%	77.1%																			
方向	改善	課題	みどりの食料システム戦略において有機農業は2050年に耕地面積の25%(取組面積100万ha)達成を目指しています。当市でも環境保全型農業直接支払制度を活用し、取組面積の拡大を目指していますが、本制度は取組農家に対する要件が厳しく、制度を利用しない有機農家も多く存在し、交付金対象面積を増加させることは容易でないことが課題です。																								
	改善案	交付金制度について、引き続き取り組みやすい制度に改正するよう国に要望していきます。取組農家に対して面積拡大の支援、また新規取組検討をしている農家に対し、相談や事業説明を通じて支援を行います。従来より早期に制度の案内周知を行い、当該事業に取り組む農家の拡大を図ります。県特認として取り組む梨の減農薬については、取組み団体の生産意欲も高く、栽培面積も増加傾向にあることから、事業対象面積の拡大を目指していきます。																									

整理番号		(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)14循環型農業推進施設管理経費						決算書頁		
306 -								253		
基本情報	コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業			
	施策	3-2	農業			H16 年度～ R6 年度	01-06-01-03-14-01			
	基本事業	①	農畜産物の生産振興			担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先	
	事務事業名	循環型農業推進施設管理経費			産業振興部農林振興課		課長 前川 博善 0595-22-9713			
事務事業の概要	対 象	資源循環型農業推進施設								
	目 的	持続可能な資源循環型農業、特産品づくり及び地域景観の向上を促進し、地域活性化を図る								
	根拠法令等	伊賀市資源循環型農業推進施設の設置及び管理に関する条例								
	内 容	菜の花プロジェクトを推進するうえで核となる施設『菜の舎』(なのくら)の管理運営について、指定管理者制度により伊賀産菜種油の生産や商品開発に取り組んでいます。 【指定管理先】一般社団法人 大山田農林業公社 【主な自主事業】 ・搾油設備を使用して菜種の搾油を行い、販売計画に基づいて菜種油を販売。 ・搾油施設利用を促進するためのカメリナオイルの受託製造。 ・地元小学校の工場見学や、中学校の体験学習受入 平成20年度農山漁村活性化プロジェクト支援交付金により取得したBDF製造研究施設(現:バイオ燃料センター)について、民間提案制度で当該施設を設置目的とは異なる事業で利活用することが決まったため財産処分(国庫補助金返納)を行った。								
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要				
	需用費		495,000円		修繕料 原油送油ポンプ交換					
	委託料		2,000,000円		循環型農業推進施設指定管理料 委託先:(一社)大山田農林業公社			2,000,000円		
	償還金、利子及び割引料		6,043,782円		過年度国庫支出金精算返還金 平成20年度農山漁村活性化プロジェクト支援交付金 バイオ燃料センター			6,043,782円		
	計		8,538,782円							
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目		R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			国庫支出金		0	0	0	0		
			地方債		0	0	0	0		
			その他		124	0	0	0		
			一般財源		2,548	2,840	8,539	2,554		
		合計(A)		2,672	2,840	8,539	2,554			
		人件費	正規職員	業務量	0.34 人	0.34 人	0.34 人	0.34 人		
				人件費	2,631	2,620	2,620	2,678		
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
				人件費	0	0	0	0		
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
				人件費	0	0	0	0		
			小計(B)		2,631	2,620	2,620	2,678		
			合計(A+B)		5,303	5,460	11,159	5,232		
	市民1人当たりのコスト(円)		61	64	130	62				
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	菜種の搾油量		搾油された菜種油の数量 (製品化したもの)		kg	目標	7,000	7,000	7,000	7,000
						実績	5,307	5,397	6,250	
	指標化できない成果		—		達成	75.8%	77.1%	89.2%		
方向	改善	課題	過年度に豊作の年を迎えるなど、搾油用種子については一定量が確保ができており、従前の課題であった施設稼働率は改善がみられた。今後も菜種油の安定的な生産を図るための取り組みを継続していくことが課題となっています。							
		改善案	菜種油の安定的な生産を図るため、搾油技術の向上や圃場の確保、新規流通先の開拓等を「菜の舎」と連携を図りつつ推進していきます。							

整理番号		(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)04農業生産対策費(大事業)01集落営農支援事業						決算書頁	
307 -								255	

基本情報	コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業		
	施策	3-2	農業	H16	年度～	R6	年度	01-06-01-04-01-01
	基本事業	②	農業・農村の多面的機能維持向上	担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先	
	事務事業名	集落営農支援事業			産業振興部農林振興課		課長 前川 博善 0595-22-9712	

事務事業の概要	対 象	営農活動のための農業用機械器具または、建物の新設及び改修を必要としている集落営農組織	
	目 的	集落営農組織を支援し、地域農業の安定的発展と集落環境及び機能を維持する	
	根拠法令等	産業振興部関係補助金等交付要綱	
	内 容	集落営農組織を対象に農業用機械器具の購入費の助成または、営農組織等に必要な建物の新築・改修費の助成を行いました。 【補助金取組組織】12件 【補助金交付総額】1,0980,000円	

事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要
	負担金、補助及び交付金	10,980,000円	集落営農支援事業補助金(12件)
	計	10,980,000円	

全体コスト(千円)	直接 事業費	項目		R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) ふるさと応援基金繰入金 10,980,000円
		国県支出金		0	0	0	0	
		地方債		0	0	0	0	
		その他		9,993	11,000	10,980	12,500	
		一般財源		0	0	0	0	
	合計(A)		9,993	11,000	10,980	12,500		
	事業費	正規職員	業務量	0.15 人	0.15 人	0.15 人	0.15 人	
			人件費	1,161	1,156	1,156	1,182	
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	
		小計(B)		1,161	1,156	1,156	1,182	
	合計(A+B)		11,154	12,156	12,136	13,682		
市民1人当たりのコスト(円)		128	141	141	161			

指 標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	交付件数	事業実施組織数	件	目標	10	12	12	12
				実績	11	16	12	
指標化できない成果	—			達成	110%	133%	100%	

方 向	改善	課題	農業者の高齢化による後継者不足、離農等によって集落営農組織に対するニーズは高まっています。また、農作業量も増加しており、作業員や農業機器等への負担も増加しています。 近年の省力化技術の向上に伴い、機械類の高額化が進んでいます。集落営農組織の存続のために、作業負担軽減、費用負担軽減は喫緊の課題となっています。
	改善案	コンバインやトラクターなどの従来から主な申請対象となっていた機械に関しては、機能が充実した機種を導入を支援するとともに、ラジコン草刈機や農業用ドローンなどスマート農業技術や作業省力化技術機械の導入に対する支援については補助率を上げていることもあり、今後もさらに強化していきます。	

整理番号		(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)04農業生産対策費(大事業)01集落営農支援事業						決算書頁	
308 -								255	

基本情報	コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業		
	施策	3-2	農業	H16	年度～	R6	年度	01-06-01-04-01-02
	基本事業	③	担い手の確保・育成	担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先	
	事務事業名	農林業公社及び生産組合支援事業			産業振興部農林振興課		課長 前川 博善 0595-22-9713	

事務事業の概要	対 象	一般社団法人大山田農林業公社及び会員	
	目 的	地域の農家の営農継続を支援し、農林業公社の運営体制の強化充実を図る	
	根拠法令等	一般社団法人大山田農林業公社社会費規程 産業振興部関係補助金等交付要綱	
	内 容	農用地等の保全事業等を行うとともに農業経営の合理化を図るため、農地保有合理化の促進、生産性の高い近代的農業の確立を目的に大山田農林業公社に対し運営助成を実施しました。 大山田農林業公社が主体となり遊休農地の解消、担い手への農地集積、農作業の受委託斡旋などに取り組みました。	

事業に要した 主な経費 など	経費		金額	摘要	
	負担金、補助及び交付金		4,500,000円	大山田農林業公社負担金 4,000,000円 大山田農林業公社運営助成金 500,000円	
	計		4,500,000円		

全体コスト(千円)	直接 事業費	項目		R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		国県支出金		0	0	0	0	
		地方債		0	0	0	0	
		その他		0	0	0	0	
		一般財源		4,500	4,500	4,500	4,500	
	合計(A)		4,500	4,500	4,500	4,500		
	事業費	正規職員	業務量	0.16 人	0.16 人	0.16 人	0.16 人	
			人件費	1,238	1,233	1,233	1,260	
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	
		小計(B)		1,238	1,233	1,233	1,260	
	合計(A+B)		5,738	5,733	5,733	5,760		
市民1人当たりのコスト(円)		66	67	67	68			

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	農地所有者代理事業で 取り扱う農地の面積	大山田農林業公社で取り扱う 農地の面積	ha	目標	200	202	204	206
				実績	198	198	211	
	指標化できない成果	—	達成	99.0%	98.0%	103.4%		

方向	縮小	課題	公益事業でおこなう農地所有者代理事業については、担い手への農地集積、農作業の受委託斡旋などで実績を残しています。しかし、悪化している収益事業や法人会計の経営状況は未だ改善の見込みが低く、運営資金の減少も深刻なため、抜本的な改善が喫緊の課題となっています。 公社の活動が実質的に大山田地域に限定されており、これを拡大する方針もないことから、公益性の点も整理を要します。
		改善案	5年度に引き続き、JAいがふるさとと連携し、経営実態の把握や不採算事業の廃止、収益事業への集中など、経営改善に向けた実効性ある取り組みを進めていきます。 抜本的な経営状況の改善のため、大幅な経営規模の縮小を検討していきます。

整理番号	(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)05土地改良事業費(大事業)02土地改良事業管理経費	決算書頁
309 -		255

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-2 農業	H16 年度～	R6 年度	01-06-01-05-02-01
	基本事業	② 農業・農村の多面的機能維持向上	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	土地改良事業管理経費		産業振興部農村整備課	課長 松尾 卓哉 0595-41-0104

事務事業の概要	対 象	三重県土地改良事業団体連合会及び土地改良区		
	目 的	対象となる団体の活動が円滑となる。		
	根拠法令等	土地改良法第91条		
	内 容	三重県土地改良事業団体連合会の賦課金と市内の土地改良区へ水路等施設管理業務委託料を支出しました。 ・水路等施設管理業務委託 N＝2件(伊賀町土地改良区・阿山町土地改良区)		
事業に要した 主な経費 など	経費		金額	摘要
	委託料		949,000円	水路等施設管理業務委託料 竹谷・鴉山水路等維持管理委託 (伊賀町土地改良区) 544,000円 滝谷水路等施設維持管理委託 (阿山町土地改良区) 405,000円
	負担金補助及び負担金		1,768,000円	三重県土地改良事業団体連合会負担金 平等割(一般賦課金) 10,000円 耕地面積割7,250ha(一般賦課金) 100,000円 三重県土地改良事業団体連合会賦課金(特別賦課金) 1,569,000円 令和5年度農道台帳特別賦課金 79,000円 三重県ため池対策推進協議会負担金 三重県ため池対策推進協議会会費 10,000円
	計		2,717,000円	

全体コスト(千円)	直接 事業費	項目	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		国県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	2,035	3,483	2,717	2,622	
		合計(A)	2,035	3,483	2,717	2,622	
	事業費 人件費	正規職員	業務量 0.15 人	0.15 人	0.15 人	0.15 人	
		人件費	1,161	1,156	1,156	1,182	
		再任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費	0	0	0	0	
		会計年度任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費	0	0	0	0	
		小計(B)	1,161	1,156	1,156	1,182	
		合計(A+B)	3,196	4,639	3,873	3,804	
	市民1人当たりのコスト(円)		37	54	45	45	

指 標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	施設・用水の維持 管理・実績	事業計画に対する 達成団体数	団体	目標	2	2	2	2
				実績	2	2	2	
	指標化できない成果	—		達成	100%	100%	100%	

方向	継続	課題	
		改善案	

整理番号 310 - (会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)05土地改良事業費(大)02土地改良事業管理 経費		決算書頁 255																												
基本情報	コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大-事業-中-事業																								
	施策	3-2	農業		H16 年度～ R6 年度	01-06-01-05-02-02																								
	基本事業	②	農業・農村の多面的機能維持向上		部・課名等		評価責任者・連絡先																							
	事務事業名	土地改良施設維持管理適正化事業		担当部署	産業振興部農村整備課		課長 松尾 卓哉 0595-41-0401																							
事務事業の概要	対 象	過去に造成された土地改良施設																												
	目 的	土地改良施設の老朽化部分を更新して施設機能の回復を図る。																												
	根拠法令等	地方財政法第10条の2																												
	内 容	農業用施設の老朽化対策として施設の整備補修を行う事業で、補修を要する施設の必要経費30%を5年間均等に三重県土地改良事業団体連合会に拠出し工事を実施する事業です。 【補助率】 国:30%、県:30%、市:20%、地元:20% ※ため池・排水、用排水機等に係る防災・減災、省エネ、再エネ利用等事業は 国:50%(借入)、県:20%、市:15%、地元:15% 農業用施設の老朽化にともなう更新及び改修を行い機能回復を行いました。 ・大井井堰水路改修工事では、施設の老朽化による通水機能不全が発生していることからコンクリート水路(幅800×高600)により延長126mの改修を行い水路機能の維持に努めました。 ・白水池水路改修工事では、余水吐の老朽化による腐食及び洗堀が見られたため、コルゲートフリューム(幅800×高750)により延長17mの余水吐改修を行い排水機能の確保を図りました。																												
	事業に要した 主な経費 など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th colspan="2">摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事請負費</td> <td>16,739,800円</td> <td>大井井堰水路改修工事</td> <td>11,265,100円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>白水池水路改修工事</td> <td>5,474,700円</td> </tr> <tr> <td>原材料費</td> <td>138,270円</td> <td>資材費</td> <td>138,270円</td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>5,396,213円</td> <td>土地改良施設維持管理適正化事業特別賦課金</td> <td>5,396,213円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>22,274,283円</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>						経費	金額	摘要		工事請負費	16,739,800円	大井井堰水路改修工事	11,265,100円			白水池水路改修工事	5,474,700円	原材料費	138,270円	資材費	138,270円	負担金、補助及び交付金	5,396,213円	土地改良施設維持管理適正化事業特別賦課金	5,396,213円	計	22,274,283円	
経費	金額	摘要																												
工事請負費	16,739,800円	大井井堰水路改修工事	11,265,100円																											
		白水池水路改修工事	5,474,700円																											
原材料費	138,270円	資材費	138,270円																											
負担金、補助及び交付金	5,396,213円	土地改良施設維持管理適正化事業特別賦課金	5,396,213円																											
計	22,274,283円																													
全体コスト(千円)	直接 事業費	項目	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)																							
		国県支出金	0	0	0	0																								
		地方債	0	0	0	0																								
		その他	45,362	38,236	17,546	8,398																								
		一般財源	8,593	7,238	4,728	3,877																								
	事業費	合計(A)	53,955	45,474	22,274	12,275																								
		人件費	正規職員	業務量 0.45 人	0.40 人	0.37 人		0.37 人																						
			人件費	3,482	3,082	2,851		2,914																						
			再任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人																						
			人件費	0	0	0		0																						
			会計年度任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人																						
	小計(B)	人件費	0	0	0	0																								
合計(A+B)		57,437	48,556	25,125	15,189																									
市民1人当たりのコスト(円)		655	562	291	178																									
指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																						
	更新工事の実施地区数	当該年度に実施する地区数	地区	目標	6	3	3	2																						
				実績	6	3	2																							
	指標化できない成果	—	達成	100%	100%	66.7%																								
方向	改善	土地改良施設の多くは戦後から高度経済成長期に整備されたものであり、老朽化が進行している。																												
	改善案	本事業において、土地改良施設の老朽化部分を計画的に更新して施設機能の回復を図る。																												

整理番号		(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)05土地改良事業費(大事業)03市単土地改良事業						決算書頁	
311 -								255	

基本情報	コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業		
	施策	3-2	農業	H16	年度～	R6	年度	01-06-01-05-03-01
	基本事業	②	農業・農村の多面的機能維持向上	担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先	
	事務事業名	市単土地改良事業			産業振興部農村整備課		課長 松尾 卓哉 0595-41-0104	

事務事業の概要	対 象	国・県等の補助対象とならない、受益者2名以上の小規模な土地改良事業を行おうとする受益者	
	目 的	農業用施設のきめ細やかな整備を行い農業生産性の向上と維持管理費の軽減を図る。	
	根拠法令等	伊賀市農林関係災害復旧事業及び土地改良事業等に対する小規模(工事費・材料費)交付要綱	
	内 容	小規模土地改良事業等補助金により農業用施設の改修を行いました。 ・工事費補助: 15件 ・材料費補助: 5件	

事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要
	使用料及び賃借料	338,916円	システム等使用料 338,916円 三重県自治体共同積算システム利用料他2件
	負担金、補助及び交付金	6,325,000円	研修会等参加負担金 25,000円 小規模土地改良事業等補助金 工事費 15件 5,358,325円 材料費 5件 941,675円
	計	6,663,916円	

全体コスト(千円)	直接 事業費	項目	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		国県支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	18,700		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	8,860	5,364	6,663	6,457		
	合計(A)	8,860	5,364	6,663	25,157			
	事業費	正規職員	業務量	0.40 人	0.40 人	0.45 人		0.45 人
			人件費	3,095	3,082	3,468		3,544
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
小計(B)	3,095	3,082	3,468	3,544				
合計(A+B)	11,955	8,446	10,131	28,701				
市民1人当たりのコスト(円)	137	98	118	337				

指 標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	最終予算の執行率	最終予算の執行割合	%	目標	100	100	100	100
				実績	82.12	100	100	
	指標化できない成果	—	達成	82.12%	100%	100%		

方 向	改善	課題	4月から5月期において、突発的な用水路の漏水及び用水機場ポンプの故障等が発生するケースが多く年度当初に予算が不足することがある。
	改善案	補正予算等により財源の確保や多面的機能支払交付金による取り組みにより対応が出来るよう指導や助言を行っている。	

整理番号 312 -		(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)05土地改良事業費(大事業)06多面的機能支払交付金事業						決算書頁 255	
基本情報	コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業			
	施策	3-2	農業	H26 年度～ R6 年度		01-06-01-05-06-01			
	基本事業	②	農業・農村の多面的機能維持向上	担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先		
	事務事業名	多面的機能支払交付金事業			産業振興部農村整備課		課長 松尾 卓哉 0595-41-0104		
事務事業の概要	対 象	多面的機能支払交付金を活用する活動組織							
	目 的	農地及び農村資源(農道・水路等)保全のための共同活動を支援する。							
	根拠法令等	農業の有する多面的機能の発揮に関する法律							
	内 容	農業農村地域の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理の取り組みを行いました。 多面的機能支払取組地区 103 地区 取組(認定)面積 3,963 ha							
		事業に要した 主な経費 など		経費	金額	摘要			
		需用費	1,128,167円	消耗品費					
		役務費	85,480円	通信運搬費				61,540円	
				賠償責任保険料(ドローン賠償責任保険、機体保険)				23,940円	
		使用料及び賃借料	897,600円	電算機借上料					
		負担金、補助及び交付金	194,804,286円	多面的機能支払交付金(103地区)					
				資源向上支払交付金(長寿命化 12地区)				15,244,200円	
				農地維持支払交付金				110,928,800円	
				資源向上支払交付金(共同活動)				68,631,286円	
		償還金、利子及び割引料	8,640円	過年度県支出金精算返還金					
		計	196,924,173円						
全体コスト(千円)	直接 事業費	項目		R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		国県支出金		147,889	154,285	148,214	152,282		
		地方債		0	0	0	0		
		その他		0	0	12	0		
		一般財源		48,606	50,707	48,698	50,151		
	合計(A)		196,495	204,992	196,924	202,433			
	事業費	正規職員	業務量	1.30 人	1.30 人	1.30 人	1.30 人		
			人件費	10,059	10,017	10,017	10,237		
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
			人件費	0	0	0	0		
		会計年度任用職員	業務量	1.50 人	1.50 人	1.00 人	1.00 人		
			人件費	2,426	2,519	1,679	1,776		
	小計(B)		12,485	12,536	11,696	12,013			
	合計(A+B)		208,980	217,528	208,620	214,446			
	市民1人当たりのコスト(円)		2,382	2,518	2,415	2,513			
指標	指標名		指標の説明		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	取組地区数	多面的機能支払交付金事業に取り組んでいる組織数		地区	目標	106	104	103	103
					実績	106	104	103	
	指標化できない成果		—		達成	100%	100%	100%	
方向	改善	課題	昨今の物価上昇に伴い補修材料費及び人件費等が高騰したため修繕計画に遅れが生じてきている。 資源向上支払交付金(長寿命化)については、交付申請額の6割程度しか交付決定がされない状態である。						
		改善案	組織活動を継続できるよう国、県に対し資源向上支払交付金(長寿命化)に対する予算要望を行う。						

整理番号		(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)05土地改良事業費(大事業)07県営土地改良事業						決算書頁	
313 -								255	

基本情報	コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業		
	施策	3-2	農業	H16	年度～	R6	年度	01-06-01-05-07-01
	基本事業	②	農業・農村の多面的機能維持向上	担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先	
	事務事業名	県営事業負担金			産業振興部農村整備課		課長 松尾 卓哉 0595-41-0104	

事務事業の概要	対 象	県営土地改良事業を行う土地改良施設の受益者		
	目 的	国・県の補助を受けて行う大規模な土地改良事業の受益者負担の内、市が負うべき事業費を負担する。		
	根拠法令等	土地改良法第85条、地方財政法第10条の2		
	内 容	県営事業で行っている下記の5事業の市負担金を支出しました。 ・県営ため池等総合整備事業によるため池改修 (猿野大池・千歳大池・馬場谷池・依那具新池・野縄池外3池・鈴鹿池1・大野木大池地区) ・県営ため池等総合整備事業による農道防災対策 (高倉大橋地区) ・広域農道整備保全対策事業(命と暮らしを守る農道保全対策事業)による広域農道整備(舗装工) (伊賀2期地区) ・基幹農業水利施設ストックマネジメント事業による農業施設の改修 (滝谷用水・滝谷支線用水・服部川沿岸3期地区) ・高度水利機能確保基盤整備事業による農地中間管理機構関連農地整備事業 (諏訪地区) ・特定農業用管水路等特別対策事業による石綿管撤去及び管水路更新 (青蓮寺地区)		
事業に要した 主な経費 など	経費		金額	摘要
	負担金、補助及び交付金		110,035,000円	県営ため池等整備事業負担金 ・ため池等整備事業(猿野大池地区他6地区) 33,134,000円 ・農道防災対策事業(高倉大橋地区) 22,100,000円 広域農道整備保全対策事業負担金 22,500,000円 命と暮らしを守る農道保全対策事業(広域農道整備) 基幹農業水利施設ストックマネジメント事業負担金 9,051,000円 滝谷用水、滝谷支線用水・服部川沿岸3期地区 高度水利機能確保基盤整備事業負担金(諏訪地区) 20,000,000円 特定農業用管水路等特別対策事業負担金(青蓮寺地区) 3,250,000円
	計		110,035,000円	

全体コスト(千円)	直接 事業費	項目		R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		国県支出金		0	0	0	0	
		地方債		74,500	65,000	100,300	56,400	
		その他		19,168	7,250	3,633	13,911	
		一般財源		7,344	7,308	6,102	6,314	
	合計(A)		101,012	79,558	110,035	76,625		
	事業費	人件費	正規職員	業務量	0.35 人	0.35 人	0.35 人	0.35 人
				人件費	2,708	2,697	2,697	2,756
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
				人件費	0	0	0	0
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
				人件費	0	0	0	0
小計(B)		2,708	2,697	2,697	2,756			
合計(A+B)		103,720	82,255	112,732	79,381			
市民1人当たりのコスト(円)		1,183	952	1,305	931			

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	—	—	—	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	
指標化できない成果	県営事業にかかる負担金の支出のみであるため。	達成	—	—	—			

方向	継続	課題	
		改善案	

整理番号		(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)05土地改良事業費(大事業)09農道台帳整備事業						決算書頁	
314 -								255	

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	3-2 農業	H30 年度～	R6 年度	01-06-01-05-09-01	
	基本事業	② 農業・農村の多面的機能維持向上	部・課名等		評価責任者・連絡先	
	事務事業名	農道台帳整備事業	担当部署	産業振興部農村整備課	課長 松尾 卓哉 0595-41-0104	

事務事業の概要	対 象	広域農道、農免道路等の幹線農道の利用者											
	目 的	農道の管理を適正に行う。											
	根拠法令等	伊賀市法定外公共物管理条例											
	内 容	広域農道岡田・下川原工区取付農道の一部(延長0.272km)について、現地測量のうえ、農道台帳データを作成しました。 【委託業務内容】 現地測量 農道台帳図作成 平面図作成											
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>731,500円</td> <td>農道台帳作成業務委託 731,500円 (広域農道岡田・下川原工区取付農道の一部)</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>105,600円</td> <td>農道台帳システム クラウド使用料 105,600円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>837,100円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	委託料	731,500円	農道台帳作成業務委託 731,500円 (広域農道岡田・下川原工区取付農道の一部)	使用料及び賃借料	105,600円	農道台帳システム クラウド使用料 105,600円	計	837,100円
経費	金額	摘要											
委託料	731,500円	農道台帳作成業務委託 731,500円 (広域農道岡田・下川原工区取付農道の一部)											
使用料及び賃借料	105,600円	農道台帳システム クラウド使用料 105,600円											
計	837,100円												

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		国県支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	1,327	876	837	1,114		
	合計(A)	1,327	876	837	1,114			
	事業費	正規職員	業務量	0.05 人	0.05 人	0.05 人		0.05 人
			人件費	387	386	386		394
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
		小計(B)	387	386	386	394		
	合計(A+B)	1,714	1,262	1,223	1,508			
	市民1人当たりのコスト(円)		20	15	15	18		

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	台帳整備農道延長	台帳整備(更新)計画に対する実際に台帳を整備(更新)した農道の延長	km	目標	1.0	0.53	0.28	0.40
				実績	1.15	0.53	0.27	
指標化できない成果	—			達成	115.0%	100%	96%	

方向	改善	課題	市が直轄管理する幹線農道については農道台帳を作成済であるが、作成後30年近く経過しているものもあり、現場の状況が変化している部分が見受けられる。また、直轄農道と密接に関係している農道については、適切な管理のために台帳を作成していく必要がある。
	改善案	広域農道への取付け道路等、直轄農道と密接に関係している農道について、優先的に農道台帳を作成していく。	

整理番号 315 - (会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)05土地改良事業費(大)10農業水路等長寿命化・防災減災事業		決算書頁 257																																								
基本情報	コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大-事業-中-事業																																				
	施策	2-1 危機管理		H25 年度～ R6 年度		01-06-01-05-10-01																																				
	基本事業	④ ため池の適正管理		担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先																																			
	事務事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業			産業振興部農村整備課		課長 松尾 卓哉 0595-41-0104																																			
事務事業の概要	対 象	農地及び農業用施設の受益者																																								
	目 的	農地及び農業用施設のきめ細やかな整備を行う。																																								
	根拠法令等	地方財政法第10条の2																																								
	内 容	ため池廃止要望のあった、防災重点農業用ため池2池について廃池設計業務を行い、2池の廃池工事が完了しました。 廃池設計(2池):しんじゅ池、松林池 廃池工事(2池):岩ヶ谷池、池ヶ谷池 ため池等整備事業において、鴉山池提体法面改修工事を実施しました。 提体法面工 布製型枠工 A=74㎡ かんがい排水事業において2施設の整備を実施しました 松之本井堰用水路改修工事 用水路工L=30m NSフリーム 1500*700*2000 木興揚水機場分解整備工事 揚水機分解整備 両吸込うず巻ポンプ 出力15KW 吸込口径200mm 吐出口径150mm																																								
	事業に要した 主な経費 など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>需用費</td> <td>664,210円</td> <td>消耗品・燃料費 664,210円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>35,530円</td> <td>事務機器保守点検委託料 35,530円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4,818,000円</td> <td>ため池等整備事業測量設計業務委託料</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>しんじゅ池廃止設計業務委託 他1件 4,818,000円</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>30,526,100円</td> <td>農業水路等長寿命化・防災減災事業工事費</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(繰)下荒木揚水機場配管補修工事 4,336,200円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(繰)岩ヶ谷池廃池工事(Ⅰ期) 1,969,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>岩ヶ谷池廃池工事(Ⅱ期)他 廃池工事1件 12,426,700円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>松之本井堰用水路改修工事 他2件 11,794,200円</td> </tr> <tr> <td>原材料費</td> <td>97,900円</td> <td>資材費 メッキアングル他 97,900円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>36,141,740円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						経費	金額	摘要	需用費	664,210円	消耗品・燃料費 664,210円	委託料	35,530円	事務機器保守点検委託料 35,530円		4,818,000円	ため池等整備事業測量設計業務委託料			しんじゅ池廃止設計業務委託 他1件 4,818,000円	工事請負費	30,526,100円	農業水路等長寿命化・防災減災事業工事費			(繰)下荒木揚水機場配管補修工事 4,336,200円			(繰)岩ヶ谷池廃池工事(Ⅰ期) 1,969,000円			岩ヶ谷池廃池工事(Ⅱ期)他 廃池工事1件 12,426,700円			松之本井堰用水路改修工事 他2件 11,794,200円	原材料費	97,900円	資材費 メッキアングル他 97,900円	計	36,141,740円
経費	金額	摘要																																								
需用費	664,210円	消耗品・燃料費 664,210円																																								
委託料	35,530円	事務機器保守点検委託料 35,530円																																								
	4,818,000円	ため池等整備事業測量設計業務委託料																																								
		しんじゅ池廃止設計業務委託 他1件 4,818,000円																																								
工事請負費	30,526,100円	農業水路等長寿命化・防災減災事業工事費																																								
		(繰)下荒木揚水機場配管補修工事 4,336,200円																																								
		(繰)岩ヶ谷池廃池工事(Ⅰ期) 1,969,000円																																								
		岩ヶ谷池廃池工事(Ⅱ期)他 廃池工事1件 12,426,700円																																								
		松之本井堰用水路改修工事 他2件 11,794,200円																																								
原材料費	97,900円	資材費 メッキアングル他 97,900円																																								
計	36,141,740円																																									
全体コスト(千円)	直接 事業費	項目	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)																																			
		国県支出金	53,673	33,127	28,867	31,880																																				
		地方債	4,400	2,100	2,600	5,300																																				
		その他	6,307	2,727	2,277	0																																				
		一般財源	1,472	2,388	2,398	6,068																																				
	事業費	合計(A)	65,852	40,342	36,142	43,248																																				
		人件費	正規職員	業務量 0.60 人	0.50 人	0.43 人	0.43 人																																			
				人件費 4,643	3,853	3,314	3,386																																			
			再任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人																																			
				人件費 0	0	0	0																																			
			会計年度任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人																																			
			人件費 0	0	0	0																																				
小計(B)	4,643	3,853	3,314	3,386																																						
合計(A+B)	70,495	44,195	39,456	46,634																																						
市民1人当たりのコスト(円)		804	512	457	547																																					
指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																		
	ため池廃池数	廃池完了ため池数	池	目標	3	4	2	2																																		
				実績	3	4	2																																			
	指標化できない成果	—	達成	100%	100%	100%																																				
方向	改善	ため池は、所有者と管理者が異なることが多く、所有者が不明な場合があることに加え、私的財産であるため、土地や水利に関する権利調査や地元の合意形成に時間を要する。																																								
	改善案	農業用ため池として利用されなくなった防災重点農業用ため池については、地域と協議を行い廃止工事を実施できるように合意形成を図る。																																								

整理番号		(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)05土地改良事業費(大事業)11国営土地改良事業						決算書頁	
316 -								257	

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	3-2 農業	R4 年度～	R6 年度	01-06-01-05-11-01	
	基本事業	② 農業・農村の多面的機能維持向上	部・課名等		評価責任者・連絡先	
	事務事業名	国営施設応急対策事業	担当 部署	産業振興部農村整備課		課長 松尾 卓哉 0595-41-0104

事務事業の概要	対 象	青蓮寺用水地区									
	目 的	国営施設応急対策事業青蓮寺土地改良事業に係る事業費負担金の償還。									
	根拠法令等	土地改良法第90条第9項									
	内 容	平成26年度から実施し、令和3年度に完了した国営施設応急対策事業青蓮寺土地改良事業に係る事業費負担金の償還事業が令和4年度より開始されました。(元金:140,952,262円 利子:2,829,566円 償還額計:143,781,830円) ・償還方法:元利均等年賦支払 ・支払方法:県を経由し市町の負担金を納付 ・据置期間:令和6年3月31日 ・償還期限:令和21年3月31日 ・償還利率:年0.2% ・事業負担区分:国200/300 県70/300 市24.51/300※ 受益者(青蓮寺土地改良区)5.49/300 ※伊賀市19.36/300 名張市5.15/300									
事業に要した 主な経費 など	<table border="1"> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>281,905円</td> <td>国営かんがい排水事業(国営施設応急対策)負担金 281,905円 (青蓮寺用水地区(農基))</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>281,905円</td> <td></td> </tr> </table>		経費	金額	摘要	負担金、補助及び交付金	281,905円	国営かんがい排水事業(国営施設応急対策)負担金 281,905円 (青蓮寺用水地区(農基))	計	281,905円	
	経費	金額	摘要								
	負担金、補助及び交付金	281,905円	国営かんがい排水事業(国営施設応急対策)負担金 281,905円 (青蓮寺用水地区(農基))								
計	281,905円										

全体コスト(千円)	直接 事業費	項目		R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		国県支出金		0		0		0		0		
		地方債		0		0		0		0		
		その他		0		0		0		0		
		一般財源		282		282		282		9,892		
	合計(A)		282		282		282		9,892			
	事業費	正規職員	業務量	0.01 人	0.01 人	0.01 人	0.01 人					
			人件費	78	78	78	79					
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人					
			人件費	0	0	0	0					
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人					
			人件費	0	0	0	0					
	小計(B)		78		78		78		79			
	合計(A+B)		360		360		360		9,971			
市民1人当たりのコスト(円)		5		5		5		117				

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	
	指標化できない成果	事業費負担金の償還のため事業計画が立てられない。		達成	—	—	—	

方向	継続	課題	
		改善案	

整理番号		(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)05土地改良事業費(大事業)12団体営ため池等整備事業							決算書頁				
317 -									257				
基本情報	コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業						
	施策	2-1	危機管理			H31 年度～ R6 年度	01-06-01-05-12-01						
	基本事業	④	ため池の適正管理			担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先				
	事務事業名	団体営ため池等整備事業			産業振興部農村整備課		課長 松尾 卓哉 0595-41-0104						
事務事業の概要	対 象	団体営ため池等整備事業を行う受益者											
	目 的	農業用ため池のきめ細やかな整備を行う。											
	根拠法令等	土地改良法第85条、地方財政法第10条の2											
	内 容	防災重点農業用ため池の耐震・豪雨・劣化状況を把握するためボーリング調査を行い、解析診断業務を行いました。 ・防災重点農業用ため池の地質調査業務N＝18池 ・防災重点農業用ため池の耐震診断解析N＝72池 ・事業計画策定業務に伴う地質調査測量業務委託 N＝6箇所(大杣池、愛田蛇喰池、下友田大沢池、大正池、真泥池、真泥井堰) ・事業計画策定業務委託 N＝7箇所(竹谷池、大杣池、愛田蛇喰池、下友田大沢池、大正池、真泥池、真泥井堰)											
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要							
需用費		144,801円		消耗品費・印刷製本費					144,801円				
委託料													
実施計画策定業務委託料		212,117,400円		(緑)竹谷池地区事業計画書策定業務委託 他8件					188,555,400円				
ため池耐震診断業務委託料		157,531,900円		(緑)伊賀市3期地区防災重点農業用ため池					157,531,900円				
ため池調査業務委託料		95,610,000円		(緑)伊賀市4期地区防災重点農業用ため池					95,610,000円				
使用料及び賃借料		8,830円		地質調査測量業務委託(その1) 他3件					8,830円				
計		465,412,931円											
全体コスト(千円)	直接 事業費	項目		R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		国県支出金		416,112		505,676		465,196		233,380			
		地方債		0		0		0		0			
		その他		0		1,500		0		1,500			
		一般財源		786		16,187		217		22,796			
	合計(A)		416,898		523,363		465,413		257,676				
	事業費 人件費	正規職員	業務量	2.40 人	2.40 人	2.21 人	2.21 人						
			人件費	18,569	18,492	17,029	17,402						
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	2.21 人						
			人件費	0	0	0	7,990						
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人						
			人件費	0	0	0	0						
		小計(B)		18,569		18,492		17,029		25,392			
	合計(A+B)		435,467		541,855		482,442		283,068				
	市民1人当たりのコスト(円)		4,963		6,271		5,583		3,317				
指標	指標名		指標の説明			単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	地質調査を行ったため池数	防災重点農業用ため池において耐震診断解析に必要な地質ボーリング調査を行った池数			池	目標	85	85	18	20			
						実績	90	79	18				
	指標化できない成果		—			達成	105.8%	92.9%	100%				
方向	改善	課題	防災重点農業用ため池に係る防災工事等推進計画(三重県策定)に基づき地震・豪雨耐性評価のための地質調査を実施し進めているが、県営事業で行う防災工事に向けた事業計画策定業務において、補助事業の認可要件を整えるための地元調整や各種協議に期間を要する。										
		改善案	地質調査、耐震・豪雨・劣化等の解析診断により改修順位を定め、計画的に整備を行う。										

整理番号 318 -		(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)05土地改良事業費(大事業)19命と暮らしを守る農道保全対策事業						決算書頁 257				
基本情報	コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業						
	施策	3-2	農業	R5 年度～ R5 年度		01-06-01-05-19-01						
	基本事業	②	農業・農村の多面的機能維持向上	担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先					
	事務事業名	命と暮らしを守る農道保全対策事業			産業振興部農村整備課		課長 松尾 卓哉 0595-41-0104					
事務事業の概要	対 象	農道利用者										
	目 的	農道利用者が安全に通行できるよう整備する										
	根拠法令等	土地改良法第85条、地方財政法第10条の2										
	内 容	農免道路上野依那古線において、老朽化により路面や法面等が機能低下してきていることから、道路の長寿命化を図ることを目的として、適時適切な対策工事に備え、実施計画の策定を実施しました。 事業計画策定業務延長 L=7.7km (国50%) ・上野依那古工区 舗装工L=3.9km、防草対策工A=2,640㎡ ・上野南部工区 舗装工L=3.8km、防草対策工A=2,980㎡										
事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要							
	委託料		12,100,000円		命と暮らしを守る農道保全対策事業 12,100,000円 上野依那古地区計画策定業務委託							
	計		12,100,000円									
全体コスト(千円)	直接 事業費	項目		R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 命と暮らしを守る農道保全対策事業費補助金
		国県支出金		0		6,000		6,000		0		
		地方債		0		0		0		0		
		その他		0		0		0		0		
		一般財源		0		6,360		6,100		0		
	合計(A)		0		12,360		12,100		0			
	事業費 人件費	正規職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.11 人	0.00 人					
			人件費	0	0	848	0					
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人					
			人件費	0	0	0	0					
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人					
			人件費	0	0	0	0					
		小計(B)		0		0		848		0		
	合計(A+B)		0		12,360		12,948		0			
市民1人当たりのコスト(円)		0		144		150		0				
指標	指標名		指標の説明		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
	事業計画数		事業計画を行う地区数		地区	目標	—	—	1	—		
						実績	—	—	1			
	指標化できない成果		—			達成	—	—	100%			
方向	完了	課題										
		改善案										

整理番号		(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)06国土調査費(大事業)01国土調査事業						決算書頁	
319 -								257	

基本情報	コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業		
	施策	3-2	農業	H16	年度～	R6	年度	01-06-01-06-01-01
	基本事業	②	農業・農村の多面的機能維持向上	担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先	
	事務事業名	国土調査推進事業			産業振興部農村整備課		課長 松尾 卓哉 0595-41-0104	

事務事業の概要	対 象	地籍調査にかかる地権者及びその関係団体																							
	目 的	地籍の明確化を図り、土地利用の高度化に役立てる。																							
	根拠法令等	国土調査法、国土調査法施行規則																							
	内 容	上友生Ⅰ-④地区(0.23km ²)、中村Ⅰ-③地区(0.37km ²)の地籍調査について、三重県検査を受検し合格しました。																							
	事業に要した 主な経費 など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>1,645,248円</td> <td> 地籍調査訂正業務委託料 上友生Ⅰ-④ 880,000円 中村Ⅰ-③ 550,000円 測量成果電子化業務委託料 境界確定書スキャニング業務委託 215,248円 </td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>561,000円</td> <td>地籍成果管理システム借上料 561,000円</td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>37,000円</td> <td>三重県国土調査推進協議会会費</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>三重県協議会 3,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>東海ブロック協議会 7,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>全国国土調査協会 27,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,243,248円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	委託料	1,645,248円	地籍調査訂正業務委託料 上友生Ⅰ-④ 880,000円 中村Ⅰ-③ 550,000円 測量成果電子化業務委託料 境界確定書スキャニング業務委託 215,248円	使用料及び賃借料	561,000円	地籍成果管理システム借上料 561,000円	負担金、補助及び交付金	37,000円	三重県国土調査推進協議会会費			三重県協議会 3,000円			東海ブロック協議会 7,000円			全国国土調査協会 27,000円	計	2,243,248円
経費	金額	摘要																							
委託料	1,645,248円	地籍調査訂正業務委託料 上友生Ⅰ-④ 880,000円 中村Ⅰ-③ 550,000円 測量成果電子化業務委託料 境界確定書スキャニング業務委託 215,248円																							
使用料及び賃借料	561,000円	地籍成果管理システム借上料 561,000円																							
負担金、補助及び交付金	37,000円	三重県国土調査推進協議会会費																							
		三重県協議会 3,000円																							
		東海ブロック協議会 7,000円																							
		全国国土調査協会 27,000円																							
計	2,243,248円																								

全体コスト(千円)	直接 事業費	項目		R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		国県支出金		0	0	0	0	
		地方債		0	0	0	0	
		その他		0	0	0	0	
		一般財源		10,346	2,215	2,243	5,001	
	合計(A)		10,346	2,215	2,243	5,001		
	事業費	正規職員	業務量	0.57 人	0.57 人	0.55 人	0.55 人	
			人件費	4,411	4,392	4,238	4,331	
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.50 人	0.50 人	
			人件費	0	0	840	888	
		小計(B)		4,411	4,392	5,078	5,219	
	合計(A+B)		14,757	6,607	7,321	10,220		
	市民1人当たりのコスト(円)		169	77	85	120		

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	地籍調査が完成した地区数	地籍調査の全工程が終了し、国に認証された地区数	地区	目標	3	3	2	2
				実績	3	3	2	
指標化できない成果	—			達成	100%	100%	100%	

方向	改善	課題	国への認証遅延している地区の解消に取り組んだが、過去の成果の修正が想定より多くなっている。
		改善案	遅延解消に向けて県、法務局との協議を十分にとり、必要な部分は予算化し適切に遂行する。

整理番号		(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)06国土調査費(大事業)01国土調査事業						決算書頁		
320 -								257		
基本情報	コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業			
	施策	3-2 農業			H16 年度～ R6 年度		01-06-01-06-01-02			
	基本事業	② 農業・農村の多面的機能維持向上			担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先		
	事務事業名	国土調査事業				産業振興部農村整備課		課長 松尾 卓哉 0595-41-0104		
事務事業の概要	対 象	地籍調査にかかる地権者及びその関係団体								
	目 的	地籍の明確化を図り、土地利用の高度化に役立てる。								
	根拠法令等	国土調査法、国土調査法施行令								
	内 容	一筆地測量、地籍測量を実施しました。 ・中村Ⅰ-④地区(0.06km ²) 地籍図、地籍簿を作成しました。 ・中村Ⅰ-③地区(0.37km ²)								
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要				
	報償費		95,472円		地籍調査立会謝礼			95,472円		
	需用費		6,120円		消耗品費			6,120円		
	役務費		24,362円		通信運搬費			24,362円		
	委託料 地籍調査委託料		7,133,500円		国土調査事業地籍調査 (中村Ⅰ-④)E2・FⅠ・FⅡ-1工程業務委託他1件			7,133,500円		
	使用料及び賃借料		143,600円		会場借上料			5,000円		
					システム等借上料 地籍成果管理システム			138,600円		
	計		7,403,054円							
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目		R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			国県支出金		5,280	8,299	5,528	7,779		
			地方債		0	0	0	0		
			その他		0	0	0	0		
			一般財源		634	2,766	1,875	2,722		
		合計(A)		5,914	11,065	7,403	10,501			
		人件費	正規職員	業務量	1.13 人	1.13 人	0.96 人	0.96 人		
				人件費	8,743	8,707	7,397	7,560		
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
				人件費	0	0	0	0		
			会計年度任用職員	業務量	0.50 人	0.50 人	0.50 人	0.50 人		
				人件費	809	840	840	888		
			小計(B)		9,552	9,547	8,237	8,448		
			合計(A+B)		15,466	20,612	15,640	18,949		
	市民1人当たりのコスト(円)		177	239	181	223				
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	地籍調査の実施換算面積		地籍調査を実施した換算面積		km ²	目標	0.19	0.19	0.10	0.16
						実績	0.21	0.19	0.06	
	指標化できない成果		—		達成	100%	100%	60%		
方向	充実	課題	地籍調査は、土地を巡る行政活動・経済活動のすべての基礎データを築くもので、いずれは全国全ての地域で完成されるべきものであるが、全国平均の進捗率52%に対して三重県は10%と非常に低く、伊賀市は22.75%となっている。(R5.5月調べ)							
		改善案	地籍調査の実績を確実に積み上げていくとともに、三重県国土調査推進協議会、並びに東海ブロック国土調査推進連絡協議会を通じて、国に対して予算の増額措置を求めていく。特に測量の専門的な知識や経験が必要となることから、不足するマンパワーの強化や継続的な職員育成により、実施面積を拡大させていく。							

整理番号		(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)07畜産業費(大事業)01畜産振興事務経費						決算書頁	
321 -								259	

基本情報	コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	3-2	農業	H16 年度～	R6 年度	01-06-01-07-01-01	
	基本事業	④	地産地消	担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	畜産振興事務経費			産業振興部農林振興課		課長 前川 博善 0595-22-9713

事務事業の概要	対 象	畜産農家、銘柄牛「伊賀牛」		
	目 的	口蹄疫病などの伝染病の予防及び畜産農家の経営安定化、銘柄牛の優良化を図る		
	根拠法令等	産業振興部関係補助金等交付要綱		
	内 容	伊賀産肉牛生産振興協議会への負担金を支出し、協議会を通じて生産振興・ブランド力向上に取り組んでいます。また、畜産生産者等の生産活動に対し助成を行うことで、伊賀産肉牛の品質向上と共に出荷価格を安定させ、畜産経営の安定化を図り、銘柄伊賀牛の体質強化に取り組んでいます。 [家畜保健衛生対策事業費補助金][優良素牛導入助成金][和牛肥育組合振興助成金]を支出しました。 【優良素牛導入】503頭		
事業に要した 主な経費 など	経費		金額	摘要
	負担金、補助及び交付金		8,717,599円	伊賀産肉牛生産振興協議会負担金 567,000円 家畜保健衛生対策事業費補助金 360,000円 優良素牛導入助成金 7,500,000円 和牛肥育組合振興助成金 290,599円
	計		8,717,599円	

全体コスト(千円)	直接 事業費	項目		R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		国県支出金		0	0	0	0	
		地方債		0	0	0	0	
		その他		9,119	8,067	8,067	8,067	
		一般財源		0	910	651	910	
	合計(A)		9,119	8,977	8,718	8,977		
	事業費	人件費	正規職員	業務量	0.30 人	0.30 人	0.30 人	0.30 人
				人件費	2,322	2,312	2,312	2,363
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
				人件費	0	0	0	0
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
				人件費	0	0	0	0
小計(B)		2,322	2,312	2,312	2,363			
合計(A+B)		11,441	11,289	11,030	11,340			
市民1人当たりのコスト(円)		131	131	128	133			

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	優良素牛導入頭数	いがほくぶ和牛肥育部会の優良素牛の導入頭数	頭	目標	500	500	500	500
				実績	497	495	503	
	指標化できない成果	—	達成	99.4%	99.0%	100%		

方向	充実	課題	市内の肉牛肥育を取り巻く状況は、肥育農家の高齢化や後継者不足など、厳しい状況が続いています。伊賀牛は生産頭数は減少傾向にあり、伊賀肉ブランド維持のため安定的な伊賀牛の供給と増頭に向けた一層の取り組みが必要です。
		改善案	安定的な伊賀牛の供給と増頭を目指すため、今後も引き続き肥育農家をはじめ肉牛の生産に関わる各事業者に対する支援を継続していきます。また、畜産への新規就農や事業承継に関する取り組みを行っていく必要があります。加えて、和牛業界の発展には生産と販売が不可欠なものであり、今後も伊賀牛ブランドを維持していくためには、これまでの生産側への支援に加え、販売側への支援も両輪で行っていく必要があると考えます。

整理番号		(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)07畜産業費(大事業)02畜産振興事業費							決算書頁	
322 -									259	
基本情報	コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業			
	施策	3-2	農業			H16 年度～ R6 年度	01-06-01-07-02-01			
	基本事業	④	地産地消			担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先	
	事務事業名	畜産振興事業			産業振興部農林振興課		課長 前川 博善 0595-22-9713			
事務事業の概要	対 象	伊賀牛の生産関係者								
	目 的	伊賀牛の振興および飼養頭数の増頭を目指す								
	根拠法令等	産業振興部関係補助金等交付要綱、旧伊賀市食肉センターの施設閉鎖後の管理にかかる協定書								
	内 容	①令和2年度から「伊賀牛地域内一貫肥育モデル事業」を開始し、3年度には49頭、4年度には48頭(合計97頭)の子牛が伊賀生まれとして育成農家へ引き渡されました。 モデル事業の委託料において、黒毛和種子牛登記にかかる費用の一部を支援金として支出しました。 ②旧伊賀市食肉センターの維持管理として、施設周辺の草刈りおよび植木伐採作業を行っています。 ③伊賀肉冷蔵センターの運営主体であるJAいがふるさとしに対し、運営助成金として1,000千円を交付しています。また、赤字が発生した場合は、これを伊賀市食肉組合と折半で補填するため、赤字額の半額を運営助成金に上乗せして交付しています。								
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要				
	委託料		339,101円		①伊賀牛地域内一貫肥育モデル事業業務委託料 (伊賀地域畜産クラスター協議会)					
	負担金、補助金及び交付金		1,097,923円		②旧食肉センター草刈委託料 98,901円 ③伊賀牛振興補助金 1,097,923円 (伊賀肉冷蔵センター運営助成)					
	積立金		13,548円		伊賀市食肉センター施設整備等基金積立金 13,548円					
	計		1,450,572円							
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目		R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			国県支出金		260	500	120	500		
			地方債		0	0	0	0		
			その他		39	52	38	51		
			一般財源		1,476	1,589	1,293	1,590		
		合計(A)		1,775	2,141	1,451	2,141			
	人件費	正規職員	業務量	0.27 人	0.27 人	0.27 人	0.27 人			
			人件費	2,089	2,081	2,081	2,126			
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人			
			人件費	0	0	0	0			
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人			
			人件費	0	0	0	0			
		小計(B)		2,089	2,081	2,081	2,126			
	合計(A+B)		3,864	4,222	3,532	4,267				
	市民1人当たりのコスト(円)		45	49	41	50				
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	伊賀肉冷蔵センターの利用数		利用頭数		頭	目標	729	729	729	729
						実績	614.5	674	657	
	指標化できない成果		—			達成	84.2%	92.4%	90.1%	
方向	改善	課題	①仔牛市場価格の下落により、3か月齢のモデル牛の販売価格が折り合わず、素牛育成農家から肥育農家への引き渡しが続いています。 ②旧食肉センターの活用を進めていく必要があります。 ③伊賀肉冷蔵センターの経営改善。							
	改善案	①現状を踏まえ『地域内一貫肥育モデル事業』の存続を含め、関係機関と協議を進めていきます。 ②民間提案制度や売却プロポーザルなど市の諸制度を活用し、民間事業者による活用を検討していくとともに、地元にも丁寧な説明を行っていく必要があります。 ③伊賀肉冷蔵センターの利用件数の増加及び経営状況の改善について、関係機関と協議を行います。								

整理番号	(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)08エネルギー価格・物価高騰対策費(大事業)01物価高騰対策事業	決算書頁
323 -		259

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-2 農業	R4 年度～	R5 年度	01-06-01-08-01-01
	基本事業	① 農畜産物の生産振興	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	農業生産緊急支援事業		産業振興部農林振興課	課長 前川 博善 0595-22-9712

事務事業の概要

対 象	化学肥料の使用量の2割低減に向けた取組を行う農業者		
目 的	化学肥料の使用量の低減に向けて取り組む農業者に対し、肥料コスト上昇分の一部を支援する		
根拠法令等	伊賀市肥料価格高騰対策緊急支援事業補助金交付要綱		
内 容	肥料価格が急騰する中、海外原料に依存している化学肥料の使用量の低減に向けて取り組む農業者の団体等に対し、肥料コスト上昇分の一部を支援する事業になります。 国の事業であります「肥料価格高騰対策事業」に係る支援金の交付の対象者に上乗せする形として補助をおこないました。 令和5年度は春肥を対象としており、12団体(延べ1,708件)に対し、6,836,596円を交付しました。 ※秋肥は令和4年度に実施済です。		
事業に要した 主な経費 など			
	経費	金額	摘要
	負担金、補助及び交付金	6,836,596円	伊賀市肥料価格高騰対策緊急支援事業補助金
	計	6,836,596円	

全体コスト(千円)	直接 事業費	項目	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		国県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	1,803	0	6,837	0	
		一般財源	0	0	0	0	
		合計(A)	1,803	0	6,837	0	
	事業費 人件費	正規職員	業務量 0.10 人	0.00 人	0.20 人	0.00 人	
		人件費	774	0	1,541	0	
		再任用職員	業務量 0.10 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費	359	0	0	0	
		会計年度任用職員	業務量 0.10 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費	162	0	0	0	
		小計(B)	1,295	0	1,541	0	
		合計(A+B)	3,098	0	8,378	0	
	市民1人当たりのコスト(円)		36	0	97	0	

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	—	—	—	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	
	指標化できない成果	国・県が実施する事業に上乗せするものであり、数値が見込めないため		達成	—	—	—	

方 向	完了	課題	
		改善案	

整理番号		(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)01林業総務費(大事業)02事務管理経費						決算書頁	
324 -								259	

基本情報	コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業		
	施策	3-3	森林保全・林業	H16	年度～	R6	年度	01-06-02-01-02-01
	基本事業	②	森林資源の利活用	担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先	
	事務事業名	事務管理経費			産業振興部農林振興課		課長 前川 博善 0595-22-9712	

事務事業の概要	対 象	林業振興事業を実施するために必要な事務費用等		
	目 的	林業振興事業を円滑に実施する		
	根拠法令等			
	内 容	経常経費です。 ・需用費 ・委託料 樹木剪定伐採等委託料 ・使用料及び賃借料 林地台帳システムクラウド使用料 ・負担金、補助及び交付金		

事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要	
	需用費	16,000円	消耗品費	16,000円
	委託料	66,000円	樹木剪定伐採等委託料	66,000円
	使用料及び賃借料	283,000円	有料道路通行料	5,800円
			林地台帳システムクラウド使用料	277,200円
	負担金、補助及び交付金	510,000円	三重県緑化推進協会負担金	30,000円
		三重県森林協会負担金	480,000円	
	計	875,000円		

全体コスト(千円)	直接 事業費	項目		R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		国県支出金		0	0	0	0	
		地方債		0	0	0	0	
		その他		0	0	0	0	
		一般財源		1,115	1,157	875	1,168	
	合計(A)		1,115	1,157	875	1,168		
	事業費	正規職員	業務量	0.02 人	0.02 人	0.02 人	0.00 人	
			人件費	155	155	155	0	
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	
		小計(B)		155	155	155	0	
	合計(A+B)		1,270	1,312	1,030	1,168		
市民1人当たりのコスト(円)		15	16	12	14			

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	—	—	—	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	
指標化できない成果	事務費の為指標化不可			達成	—	—	—	

方向	改善	課題	林業従事者が施業地の森林所有者及び地番を正確に把握出来ていない場合があるため、林地台帳地図により参考となる地番を確認いただけるよう、林地台帳の周知及び利用を促進する必要があります。
		改善案	林地台帳について、ホームページに掲載する他、森林組合や木材市場窓口での周知資料の配置等を実施し、林地台帳の周知を行います。

整理番号		(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)02林業振興費(大事業)02森林振興事業						決算書頁	
325 -								261	

基本情報	コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業		
	施策	3-3	森林保全・林業	H16	年度～	R6	年度	01-06-02-02-02-01
	基本事業	①	森林環境の整備	担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先	
	事務事業名	森林環境創造事業			産業振興部農林振興課		課長 前川 博善 0595-22-9712	

事務事業の概要	対 象	環境林整備計画に位置づけられた森林		
	目 的	環境林整備計画に基づき間伐等適正管理を行うことで、環境林の持つ多面的機能を発揮できる		
	根拠法令等	森林環境創造事業実施要領		
	内 容	環境林整備計画に位置付けられた森林において、調査等を実施した上で、森林の多面的機能を高く発揮できる森林(下草などの下層植生が繁茂し、水源かん養機能や山地災害防止機能の高い森林)にするため、強度の間伐等を計画的に実施する環境林整備を行いました。 ・間伐 19.31ha ・委託先 伊賀森林組合 伊賀市森林管理協議会を計1回開催しました。伊賀市が実施する環境林整備の基本計画である、伊賀市特定水源地域等森林整備計画について審議を行いました。 ・開催日時 令和6年3月28日(木) 午前9時30分～		
事業に要した 主な経費 など	経費		金額	摘要
	報酬		60,000円	森林管理協議会委員 報酬
	旅費		8,103円	森林管理協議会委員 旅費
委託料		4,950,000円	森林環境創造事業委託料 委託先:伊賀森林組合	
計		5,018,103円		

全体コスト(千円)	直接 事業費	項目		R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 森林環境創造事業費補助金 1,960,000円 美しい森林づくり基盤整備交付金 2,475,000円
		国県支出金		3,960	4,410	4,435	4,320	
		地方債		0	0	0	0	
		その他		0	0	0	0	
		一般財源		480	666	584	756	
	合計(A)		4,440	5,076	5,019	5,076		
	事業費	正規職員	業務量	0.11 人	0.11 人	0.11 人	0.11 人	
			人件費	852	848	848	875	
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	
小計(B)		852	848	848	875			
合計(A+B)		5,292	5,924	5,867	5,951			
市民1人当たりのコスト(円)		61	69	68	70			

指 標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	環境林整備面積	間伐により森林整備を行った面積	ha	目標	18	16.4	17	18
				実績	16.42	16.99	19.31	
	指標化できない成果	—	達成	91.2%	103.6%	113.6%		

方 向	改善	課題	三重県の施策に基づく事業で、国・県の補助金を財源としています。三重県は、当事業を令和13年度で終了することを以前から決定しており、予算についても縮小傾向にあります。については、当事業を中心に伊賀市の環境林整備を推進していくのは難しい為、他事業・他財源を中心として環境林整備を進めて行く必要があります。
	改善案		森林環境創造事業費補助金を可能な限り活用しつつ、他の財源を用いて環境林整備を推進します。

整理番号		(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)02林業振興費(大事業)02森林振興事業						決算書頁		
326 -								261		
基本情報	コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業			
	施策	3-3	森林保全・林業			H16 年度～ R6 年度	01-06-02-02-02-05			
	基本事業	①	森林環境の整備			担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先	
	事務事業名	緊急間伐・搬出間伐推進事業			産業振興部農林振興課		課長 前川 博善 0595-22-9712			
事務事業の概要	対 象	伊賀市内の森林								
	目 的	森林所有者の間伐作業を推進し森林整備が適正に行われるようにする								
	根拠法令等	森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法、緊急間伐・搬出間伐推進事業補助金交付要綱								
	内 容	市内に存在する森林の適正管理を推進するため、緊急に間伐すべき森林において間伐経費と搬出経費の一部を助成しました。 搬出間伐に対して助成することにより、間伐材の有効利用と林業の活性化を促しました。 補助金申請者から補助対象期間の拡充するよう要望があったため、令和4年度から、事業期間を3期に分け、補助対象期間をこれまでより広げ、年間を通して林業に従事してもらえるように改善しました。 ・緊急間伐・搬出間伐推進事業補助金(第2期) 申請件数 32件 間伐本数 12,995本(内、搬出間伐3,752本 切捨間伐9,243本) 間伐面積 20.95ha ・緊急間伐対策完了検査業務委託 委託先:伊賀森林組合								
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要				
	委託料		396,000円		緊急間伐対策完了検査委託料 委託先:伊賀森林組合					
	負担金、補助及び交付金		3,345,278円		緊急間伐・搬出間伐推進事業補助金(第2期)					
	計		3,741,278円							
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目		R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 美しい森林づくり基盤整備交付金 1,672,639円	
			国県支出金		2,100	2,550	1,673	2,100		
			地方債		0	0	0	0		
			その他		0	0	0	0		
			一般財源		2,707	6,232	2,069	4,591		
		合計(A)		4,807	8,782	3,742	6,691			
		人件費	正規職員	業務量	0.23 人	0.23 人	0.23 人	0.23 人		
				人件費	1,780	1,773	1,773	1,812		
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
				人件費	0	0	0	0		
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
				人件費	0	0	0	0		
			小計(B)		1,780	1,773	1,773	1,812		
			合計(A+B)		6,587	10,555	5,515	8,503		
	市民1人当たりのコスト(円)		76	123	64	100				
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	緊急間伐・搬出間伐補助 間伐本数に占める搬出 間伐本数の割合		間伐材の有効利用及び林業 の活性化を示す		%	目標	35	35	19	21
						実績	32	17	29	
	指標化できない成果		—		達成	91.4%	48.6%	152.6%		
方向	改善	申請者である森林所有者の多くは間伐業務を林業従事者に委託している状況です。林業従事者の高齢化、所有山林に対する無関心が進んだことが原因で、林業を生業とする従事者の減少が見られます。 また、間伐本数に占める搬出間伐の割合が約3割程度であり、間伐材の有効利用があまりなされていません。								
	改善案	伊賀市未来の山づくり協議会 人材育成部会において、林業従事者の増加に向けた人材育成について検討します。 令和5年度から開始した伊賀市森林作業道整備事業補助金により作業道の整備を支援することにより、森林施業及び木材の集材・搬出を促進します。								

整理番号		(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)02林業振興費(大事業)02森林振興事業						決算書頁	
327 -								261	

基本情報	コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業		
	施策	3-3	森林保全・林業	H28	年度～	R6	年度	01-06-02-02-02-07
	基本事業	①	森林環境の整備	担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先	
	事務事業名	流域防災機能強化対策事業			産業振興部農林振興課		課長 前川 博善 0595-22-9712	

事務事業の概要	対 象	溪流沿い等の森林整備		
	目 的	流域における防災機能を強化する為、土砂流出の危険性が高く、早急な整備が必要とされる箇所の森林整備を行う		
	根拠法令等	みえ森と緑の県民税条例		
	内 容	【災害緩衝林一体型】 みえ森と緑の県民税を活用して県が実施する災害緩衝林整備事業の整備範囲の森林と一体的に整備することで、防災機能をより強化する森林 【環境林・特定水源地域】 伊賀市森林整備計画に定める県ゾーニングが環境林、又は三重県水源地域の保全に関する条例で、特定水源地域に指定されている森林 上記の森林において、流域における防災機能を強化するため、土砂流出の危険性が高く、早急な整備が必要とされる箇所の森林整備に市町と県が連携して取り組む。 ・間伐等(災害緩衝林一体型):8.24ha、(環境林・特定水源地域)88.81ha ・委託先:伊賀森林組合		
事業に要した 主な経費 など	経費		金額	摘要
	委託料		33,605,000円	流域防災機能強化対策事業業務委託 委託先:伊賀森林組合
	計		33,605,000円	

全体コスト(千円)	直接 事業費	項目		R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		国県支出金		37,268	34,210	33,605	15,125	
		地方債		0	0	0	0	
		その他		0	0	0	0	
		一般財源		0	0	0	0	
	合計(A)		37,268	34,210	33,605	15,125	みえ森と緑の県民税市町交付金 33,605,000円	
	事業費	正規職員	業務量	0.15 人	0.15 人	0.15 人		0.15 人
			人件費	1,161	1,156	1,156		1,182
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
	人件費		0	0	0	0		
小計(B)		1,161	1,156	1,156	1,182			
合計(A+B)		38,429	35,366	34,761	16,307			
市民1人当たりのコスト(円)		438	410	403	192			

指 標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	間伐面積	事業において間伐を実施した面積	ha	目標	200	135	135	135
				実績	44.65	118.7	97.05	
指標化できない成果		—	達成	22.3%	87.9%	71.9%		

方 向	改善	課題	流域における土砂流出の危険性が高く、早急な整備が必要とされる箇所の防災機能を強化する必要があります。整備必要箇所を林業事業体と連携して把握し、森林整備を推進する必要があります。
	改善案		三重県に事業実施に必要な予算を要望するとともに、林業事業体と連携し、水源かん養機能を発揮させる森林の優先度の高い森林から環境林整備を進めます。